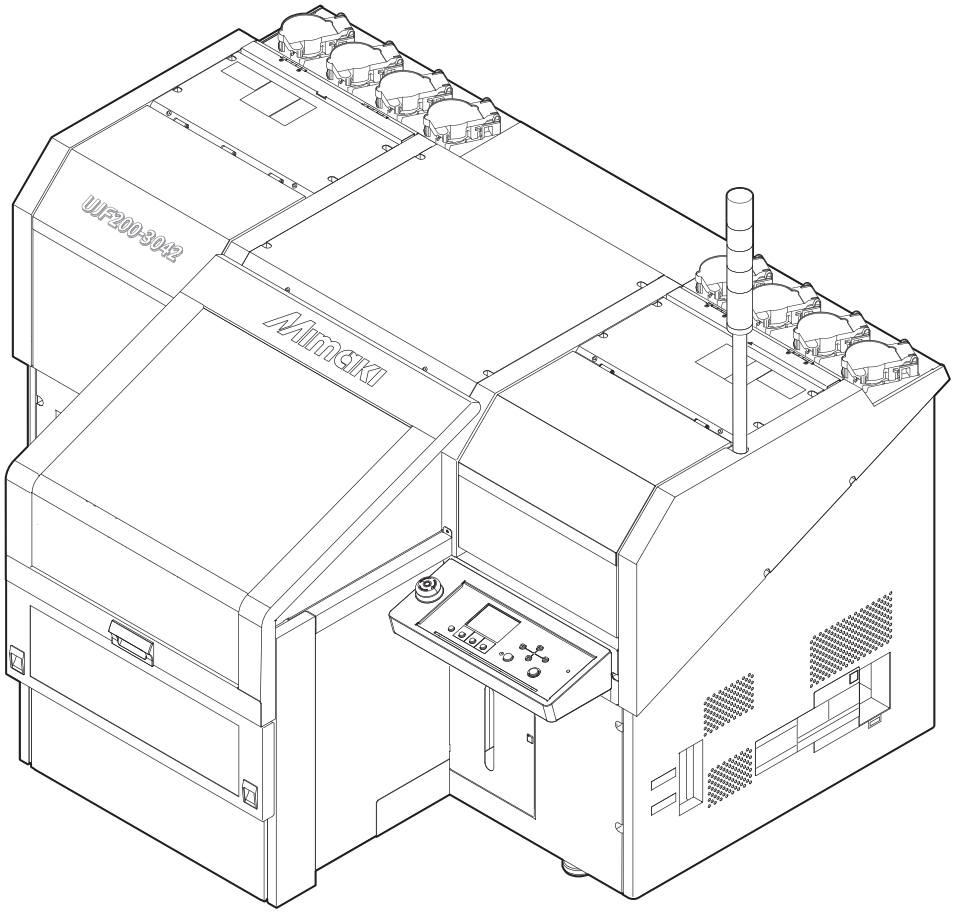
Operation Manual

UV INKJET PRINTER

UJF200-3042
UJF200-6042

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203972-10
Original instructions

目次

はじめに 5
安全にお使いいただくために 6
シンボルマーク表示について 6
使用上の警告と注意 7
使用上の制限について 11
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項 12
インク仕様 13
インク消費有効期限に対する本機の制限について 14
設置上のご注意 15
設置スペース 16
本機を移設したいとき 17
安全インターロックについて 18
非常停止スイッチについて 19
警告ラベル 20

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき 24
正面 24
キャリッジ 25
パイロットランプ（表示灯） 26
操作パネル 27
1.2 テーブルについて 30
テーブル上にメディアを載せる際の注意事項 30
タップ位置について 31
テーブルに関するご注意 32
1.3 電源ケーブルを接続する 33
電源を入れる 34
電源を切る 35
1.4 本機とコンピューターを接続する 36
USBケーブルを使う 36
LANケーブルを使う 36
1.5 システム構成 38
Mimakiドライバーをインストールする 39
RIP用ソフトウェアをインストールする 39
カラープロファイルを入手する 39
RIP用ソフトウェアを準備する 39
1.6 インクの交換方法 41
インクニアエンドが表示されたとき 41
インクエンドが表示されたとき 41
インクを交換する 41

第 2 章 基本的な使い方

2.1 プリントの流れ 50

2.2 メディアをセットする..... 51
メディアについて..... 51
メディアの厚みを設定する..... 51
原点を変更する..... 52
メディアをセットする..... 53
2.3 テストプリントをする..... 54
ホワイト確認用のテストパターンでテストプリントを行う..... 55
2.4 データをプリントする..... 56
プリントを開始する..... 56
プリントを中止する..... 56
プリントデータ受信中または受信済みの確認..... 57
“! ワーク 高い”を表示したら..... 57
プリント中にカバーを開けてしまった場合..... 57

第 3 章 各種設定

3.1 ヘッド高さメニュー..... 60
ギャップチェック..... 61
3.2 原点設定メニュー..... 63
Z原点の設定..... 64
ジョグキーを使って原点を変更する..... 64
3.3 使用メディア選択メニュー..... 66
3.4 メディア設定メニュー..... 67
3.5 機能設定メニュー..... 69
自動補正をする..... 71
フィード補正の設定..... 71
3.6 メンテナンスニュー..... 73
ノズルリカバリーを登録する..... 75
ノズルチェックとは..... 76
3.7 環境設定メニュー..... 77
ネットワークの設定..... 79
受入/ 回収位置の設定 (MDL コマンド)..... 80
3.8 マシンステータスメニュー..... 81

第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意..... 84

4.2 メンテナンスの方法 85
メンテナンス項目とタイミング 85
インクのメンテナンス 86
ヘッド周辺のメンテナンス 87
布ワイパー周辺の清掃 88
ミストフィルターの清掃 89
キャップゴムの清掃 90
インク排出路の洗浄 91
テーブルの清掃 93
外装の清掃 93
長期間使用しない場合 93
NCUの清掃 95
DAS（自動補正機能）センサーの清掃 96
4.3 消耗品の交換 98
布ワイパーの交換 98
ミストフィルターの交換 101
廃インクタンクのメンテナンス 102
キャップの交換 104
脱臭機フィルターの交換 106

第 5 章 困ったときは

5.1 故障かなと思う前に 112
画質不良が発生したときは 112
ノズル詰まりを解消したいとき 112
5.2 メッセージを表示するトラブル 113
ワーニングメッセージ 113
インクエラー 114
エラーメッセージ 115

第 6 章 付録

6.1 仕様 126
6.2 オプション一覧 128
6.3 LICENSE Library (EPL5 StarterWare) 129

はじめに

この度はUVインクジェットプリンター　UJF200-3042/6042をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2026 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- UJF200-3042/6042（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクボトルのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- UV-LEDユニット、UV電源装置は、弊社純正品以外は絶対に使用しないでください。弊社純正品以外を使用すると、本機の故障、感電、火災のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について



- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

	内　容	
⚠警告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
⚠注意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
注記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
重要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警 告

- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注 意

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
  （大阪） 072-727-2499 24時間対応
  （つくば） 029-852-9999 9～21時対応

注 記

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

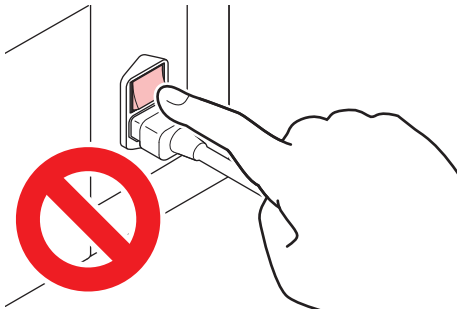
⚠ 警 告

- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 本機に乗らないでください

注 記

- テーブルの上には絶対に乗らないでください。テーブル盤面の精度が狂って、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注 意



- 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。



- 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警 告



- 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● 紫外線（UV）、UV-LEDユニットについて

⚠ 警 告



- UV-LEDユニットの下に可燃物を置いたり、紙や布でUV-LEDユニットを覆ったりしないでください。発火や発煙のおそれがあります。
- UV-LEDユニットから、微量の紫外線が漏れてしまうことがあります。目や皮膚に紫外線を浴びないように、UV遮光メガネや遮光用フェイスシールド、マスク、手袋、長袖の服を着用してください。

(1) 皮膚に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。炎症を起こさない場合でも、長期間、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。

- 急性障害：炎症など
- 慢性障害：皮膚がん、シワ、シミなど

(2) 点灯中のライトを肉眼で見た場合、目の痛みや視力障害を起こすおそれがあります。目の痛みを起こさない場合でも、長期、または反復暴露によって慢性障害に発展するおそれがあります。

- 急性障害：紫外線角膜炎、結膜炎、異物感、とう痛、涙が流れるなど
- 慢性障害：翼状片、白内障など

⚠ 注 意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- UV-LEDユニットの光を皮膚や目に直接、または間接的にあてないでください。UV-LEDユニットは、紫外線（UV）を発生させています。光を皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがあります。



- 必ず付属のUV遮光メガネを着用してください。目が痛くなったり、視力障害を起こしたりするおそれがあります。

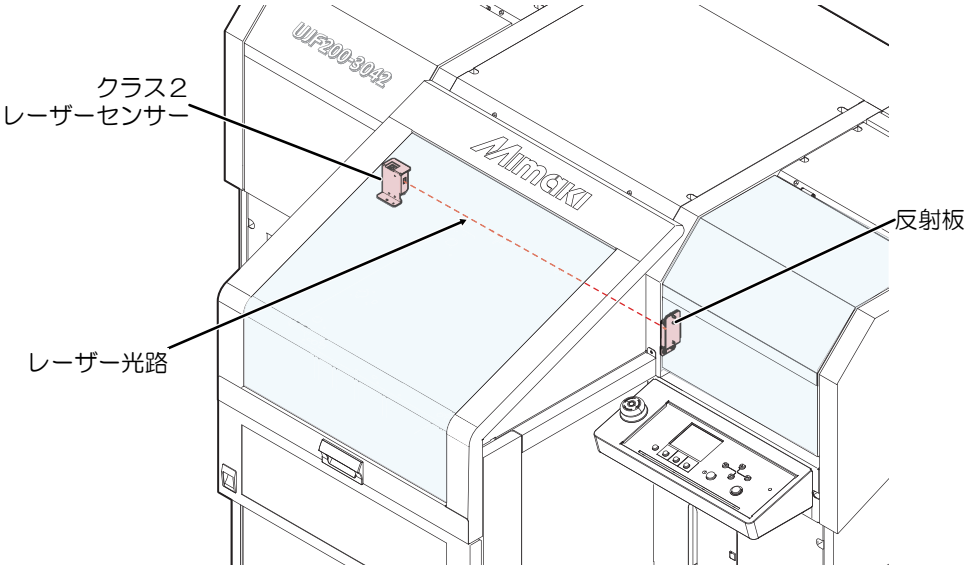
注 記

- UV-LEDユニットに無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。変形や故障の原因になります。
- UV-LEDユニットの下面についているガラスは、素手で触れないでください。UV インクの硬化が低下する原因になります。汚れが付着したときは、エタノールを含ませた清潔な柔らかい布で拭いてください。その際、カバーや他の部品にエタノールを付着させないように注意してください。変形や故障の原因になります。

● レーザーについて

⚠ 警 告

- 本機はクラス1レーザー機器となりますが、レーザーセンサー自体はクラス2レーザーが使用されています。絶対にレーザー光を直接のぞき込まないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。



● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告

- 本機に子供を近づけないでください。

注 記

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意

- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

使用上の制限について

使用上の制限

⚠ 警 告

- 本機はキャリッジが左右に高速移動したり、テーブルが動いたり、高温部や危険な電圧部、またUV-LEDを搭載していて非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した方に限られます。

使用者の制限

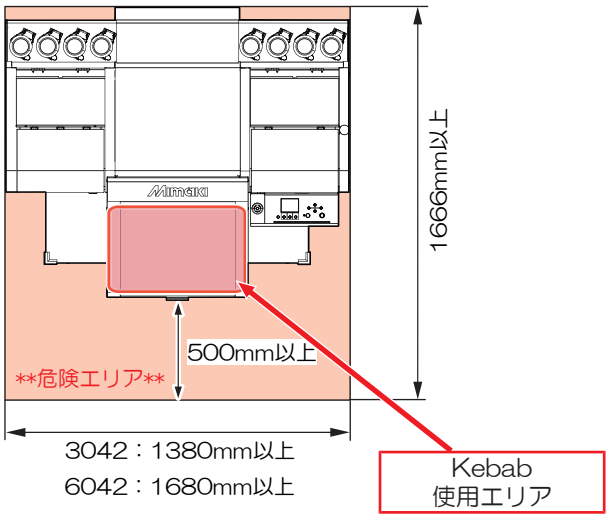
⚠ 警 告

- 本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

エリア制限

⚠ 警 告

- 弊社が実施するリスクアセスメント教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方以外は、隔離エリアへの立ち入りを禁止してください。



- プリンタ本体のUV-LEDはIEC62471に従ったRisk Group2に分類されます。
製品に表示されている警告ラベルおよび本書の安全上の指示に従って使用してください。

- オプションのKebabHSシステムはIEC62471に従ったRisk Group3に分類されます。KebabHS使用時に装置内部にアクセスする際は、UV遮光メガネと保護手袋を必ず装着してください。

- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
  (1) 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
  (2) 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。



- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。https://japan.mimaki.com/supply/sds/

⚠ 注 意



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。



- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。

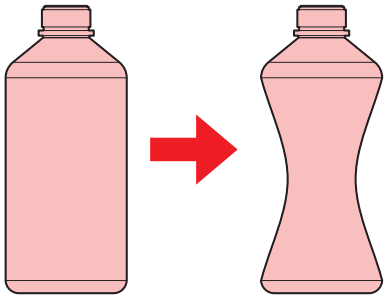
  (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。

  (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。

  (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。
- 本機にセットしているインクボトルがへこんでしまっても、使用上問題ありません。



インク仕様

項目		仕様
形態		1Lインクボトル / 250 mlインク
色		K: ブラックインク C: シアンインク M: マゼンタインク Y: イエローインク W: ホワイトインク CL: クリアインク Pr: プライマーインク (PR-200) Lc: ライトシアン Lm: ライトマゼンタ Fp:蛍光ピンク Fy: 蛍光イエロー
インク容量		1L / 250 ml
有効期限		有効期限は、インクボトルに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても3ヶ月以内。
保存温度	保存時	5 ～ 30 °C (30 °Cの場合、1ヶ月以内) • 容器は密閉した状態で保管すること。 • 換気の良い乾燥した冷暗所に保管すること。
	輸送時	1 ～ 60 °C • ただし、60°Cの場合120 時間以内、40°Cの場合1か月以内 • 0 °Cより低温になる場所、40 °Cより高温になる場所は避けること。

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例）消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。



- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

重要！

- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

設置上のご注意

⚠ 警 告



- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。



- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注 意



- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
  (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
  (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

注 記



- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満する場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

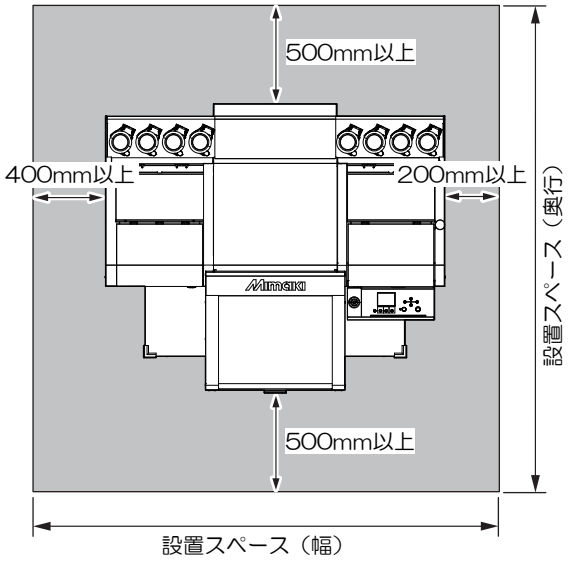
設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。

項目	UJF200-3042	UJF200-6042
幅*1	1,980 mm以上（1,380 mm）	2,280 mm以上（1,680 mm）
奥行き*1	2,166 mm以上（1,166 mm）	
高さ*1 （積色表示灯を含む）	1,524 m*2以上（1,186 mm）	
重量*1	259 kg*2（171kg）	275 kg*2（187kg）

*1. （）内は、本機のサイズ

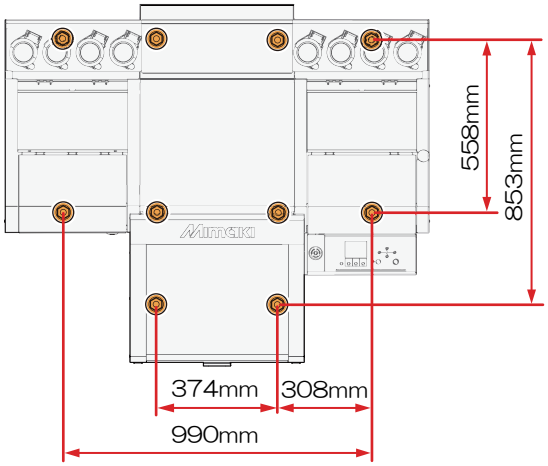
*2. 専用台を含む



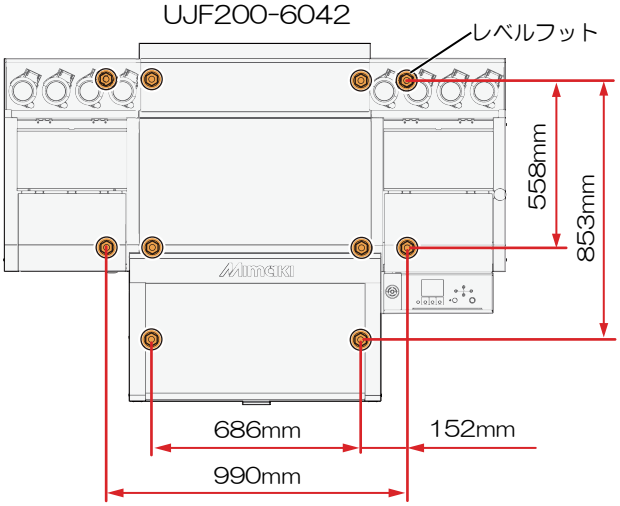
- 専用台を使用せずに机等に設置する場合は、本機の重量以上の耐荷重があるか必ず確認してください。また、設置台のサイズが以下の条件を満たしているか必ず確認してください。
  (1) 幅：1070㎜以上
  (2) 奥行き：920㎜以上
  (3) 耐荷重：250kg以上
  (4) 推奨平面度：0.5mm以下
  (5) 推奨天板厚み：9mm以上
  (6) 推奨材質：鉄またはステンレス

● 本機レベルフットの位置

UJF200-3042



UJF200-6042



本機を移設したいとき

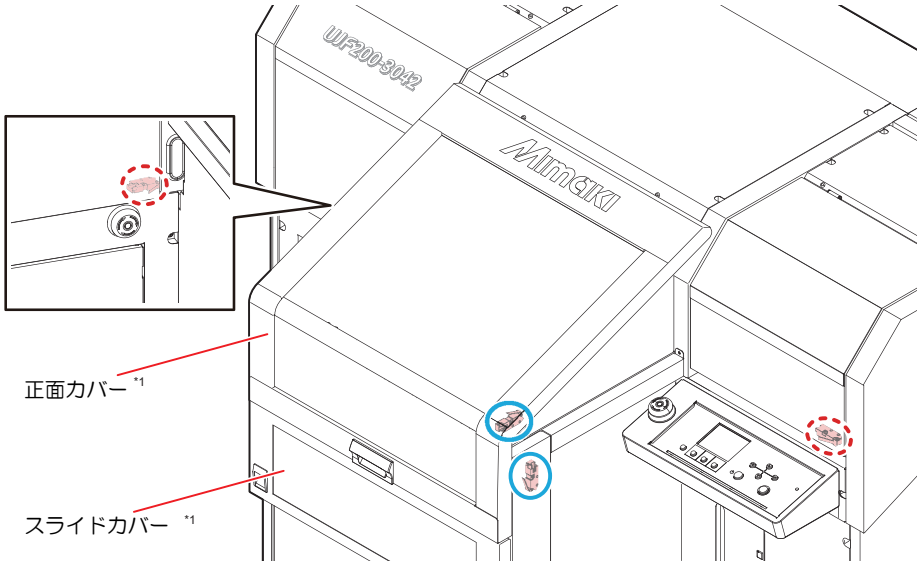
販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)

プリント中にカバーを開けるとプリントが中断されるので、再度RIPデータの受信が必要になります。

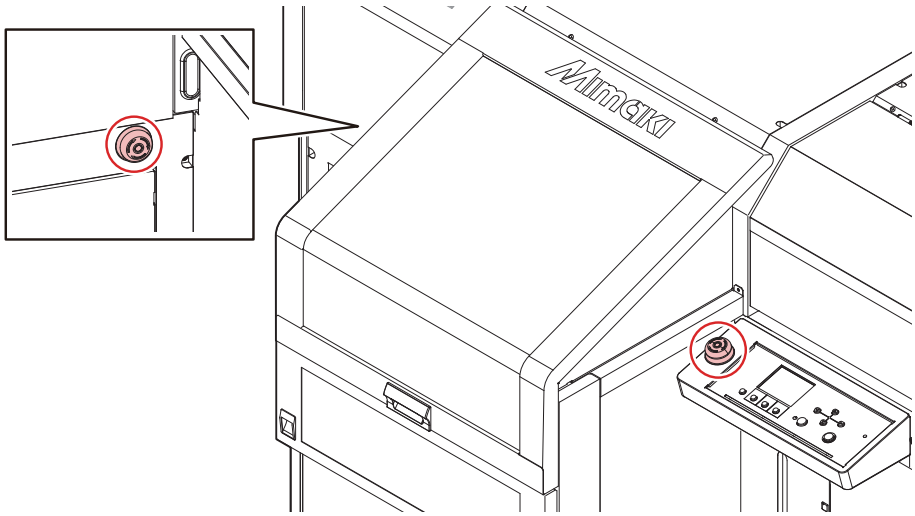
- インターロック設置場所



*1:動作中に正面カバー/スライドカバーを開くとキャリッジは停止しますが、インターロックではありません。(上図の青丸部分)

非常停止スイッチについて

非常停止スイッチは、2か所にあります。安全上の理由で、本機を緊急停止したいときに使用してください。

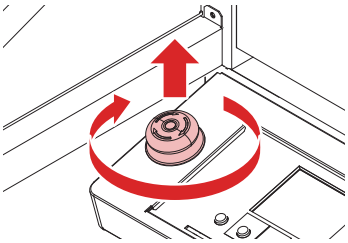


重要！

- 非常停止スイッチを押して緊急停止をした場合は、次のようにしてください。

(1) コンセントを抜いてから、異常原因を取り除く。

(2) 安全確認後、非常停止スイッチを解除する。

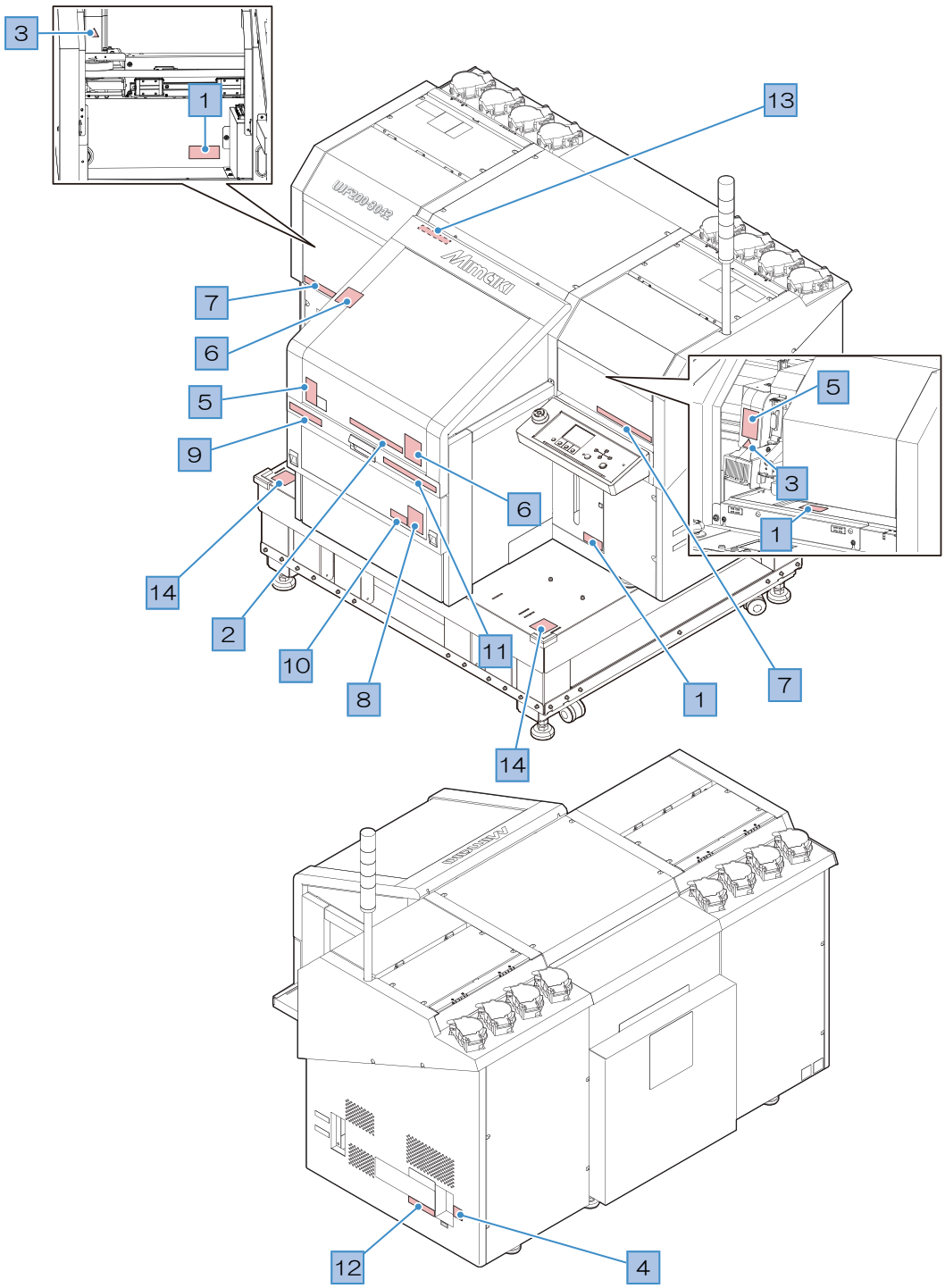


(3) コンセントを接続する。

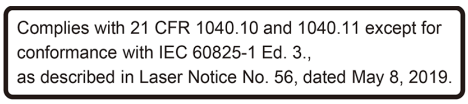
警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。



No.	注文番号	ラベル	内容
1	M903330		インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目の中に入ったりするおそれがあります。作業をするときは保護メガネや手袋を着用してください。
2	M905811		危険な可動部を示しています。キャリッジやが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがありますので、指や体を近づけないでください。
3	M906144		高温部を示しています。ヒーター通電中は、やけどのおそれがあるため触れないでください。
4	M907935		危険な電圧部を示しています。感電のおそれがあるため触れないでください。
5	M913419		紫外線に注意してください。紫外線に曝露されると、皮膚の損傷や眼の障害を引き起こすおそれがあります。照射中は、カバーを開けたり照射部を直視したりせず、手や顔を近づけないでください。
6	M913423		カバーが自重により急に閉まると、指を挟んで負傷するおそれがあります。カバーを開閉する際は、最後まで手を添えてゆっくり操作してください。
7	M913425		レーザー光に注意してください。レーザー光を直視すると、目に障害を引き起こすおそれがあります。レーザーを直接覗き込まないでください。
8	M913610		危険な可動部を示しています。テーブルが動作した時に、粉砕やせん断によるけがを負うおそれがあります。指や体を近づけないでください。
9	M915076		本装置は、IEC 60825-1に基づき、通常使用条件においてクラス1レーザー製品として分類されています。通常使用時において、ユーザがアクセス可能な位置では、レーザー光は許容限度内に制限されています。

No.	注文番号	ラベル	内容
10	M921061		本機は紫外線を発生させています。（リスクグループ2）皮膚や目に紫外線を浴びると、炎症を起こすおそれがありますので、UV光に当たらないように注意してください。
11	M920704		テーブルに20kgを超える荷重をかけると破損するおそれがあります。20kgを超えるものを載せないでください。
12	M920968		本表示は、本機が米国FDA規制に適合していることを示しています。
13	M921062		本装置の内部には、クラス2に分類されるレーザー光源が搭載されています。装置内部にアクセスする場合、レーザー光に注意してください。レーザー光を直視すると、目に障害を引き起こすおそれがあります。レーザーを直接覗き込まないでください。
14			足が接触しやすい突出部を示しています。突出部に足を接触すると打撲などの負傷をするおそれがあります。装置周辺を通行する際は十分注意してください。

第 1 章　ご使用の前に



この章では...

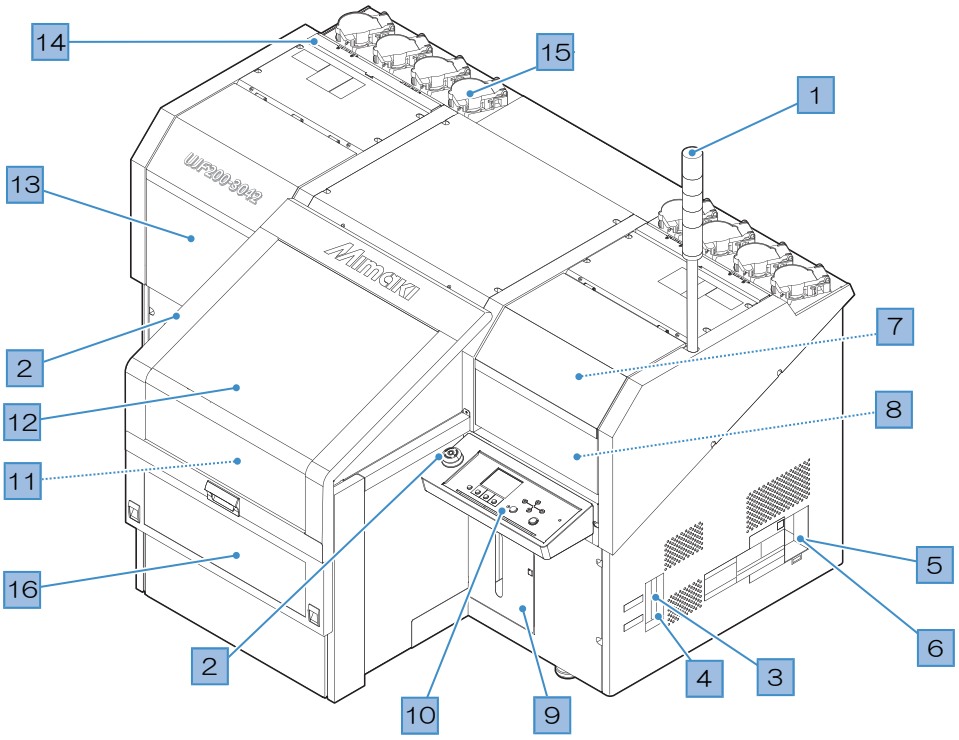
本機の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

各部の名称とはたらき.....24
　正面 24
　キャリッジ 25
　パイロットランプ（表示灯） 26
　操作パネル 27
テーブルについて.....30
　テーブル上にメディアを載せる際の注意事項 30
　タップ位置について..... 31
　テーブルに関するご注意..... 32
電源ケーブルを接続する.....33
　電源を入れる..... 34
　電源を切る 35
本機とコンピューターを接続する 36
　USBケーブルを使う 36
　LANケーブルを使う.....36
システム構成.....38
　Mimakiドライバーをインストールする 39
　RIP用ソフトウェアをインストールする 39
　カラープロファイルを入手する.....39
　RIP用ソフトウェアを準備する.....39
インクの交換方法.....41
　インクニアエンドが表示されたとき 41
　インクエンドが表示されたとき.....41
　インクを交換する 41

1.1 各部の名称とはたらき

正面

以下、UJF200-3042の図を使用して説明します。

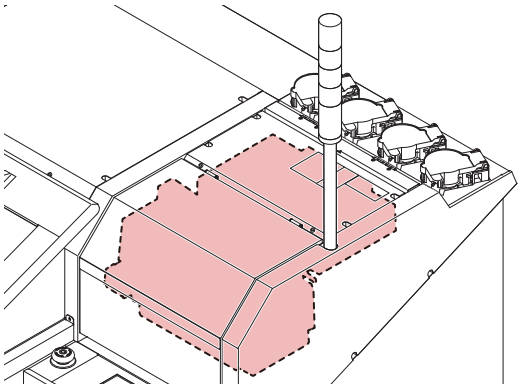


No.	名称	概要
1	表示灯	本機の状態をライトでお知らせします。UJF200-3042はオプションです。オプションは、サービスエンジニア以外は取り付けすることができません。☞「パイロットランプ（表示灯）」（P. 26）
2	非常停止ボタン	緊急停止したいときに押して、本機を停止させます。本機上面右奥と操作パネルの横に付いています。UJF200-3042はオプションです。オプションは、サービスエンジニア以外は取り付けすることができません。☞「非常停止スイッチについて」（P. 19）
3	LANポート	ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。☞「LANケーブルを使う」（P. 36）
4	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。☞「USBケーブルを使う」（P. 36）
5	ACインレット	付属されている電源ケーブルを接続します。☞「電源ケーブルを接続する」（P. 33）
6	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞「電源を入れる」（P. 34）
7	キャリッジ	プリントヘッドやUV-LEDライト、ジャムセンサーなどで構成されています。☞「キャリッジ」（P. 25）
8	キャッピングステーション	キャップやワイパー、プリントヘッドのノズル状態を監視するNCUなどで構成されています。
9	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞「廃インクタンクのメンテナンス」（P. 102）

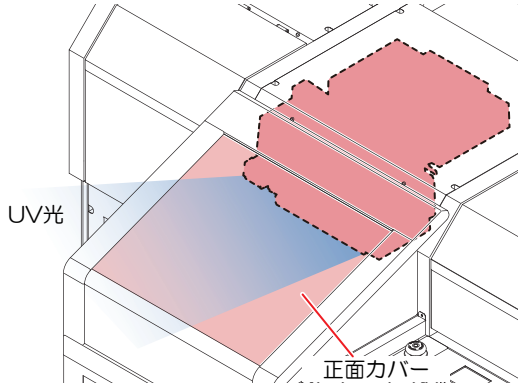
No.	名称	概要
10	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「操作パネル」（P. 27）
11	テーブル	プリントするエリアです。☞「テーブルについて」（P. 30）
12	正面カバー	メディアへのホコリ等の落下を防止します。
13	メンテナンスカバー	カバーを開けて、メンテナンスを実施します。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
14	インクICチップスロット	インクボトルに付属しているICチップを挿し込みます。インクボトルの情報を管理しています。
15	インク供給ユニット	インクボトルを挿し込んで、プリントヘッドにインクを供給します。☞「インクの交換方法」（P. 41）
16	スライドカバー	厚みのあるワークを交換するときに下に下げて利用します。

キャリッジ

キャリッジには、プリント用のプリントヘッド、LED UV装置、プリントヘッドカバー内にライトポインターを搭載しています。



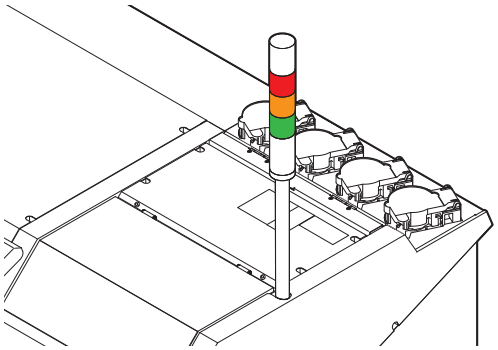
正面カバー越しであっても、LED UVから出る光を直接肉眼で見ないでください。印刷条件により、非常に明るい光が出ます。
付属の遮光メガネを着用してください。



パイロットランプ（表示灯）

表示灯ユニットは、本体の状態を3色のライトでお知らせします。

表示灯ユニットは、UJF200-3042ではオプション品となります。
本オプションをご使用いただくには、弊社サービスエンジニアによる取り付け作業が必要になります。
お客さまによるオプション品の本体への取り付けはできませんので、ご注意ください。



色	状態	概要
赤	点灯	エラーレベル2, 3[*1]の発生 システムダウンなどでプリントすることができません。
	消灯	プリンターは正常状態です。
黄	点灯	エラーレベル0, 1[*1]の発生 復旧可能なエラーが発生しています。表示されているメッセージを確認し対処をしてください。メッセージを表示するトラブル
	消灯	プリンターは正常状態です。
緑	点灯	電源オンの待機状態です。
	点滅	プリント中です。
	消灯	電源オフ状態です。

*1. エラーレベル

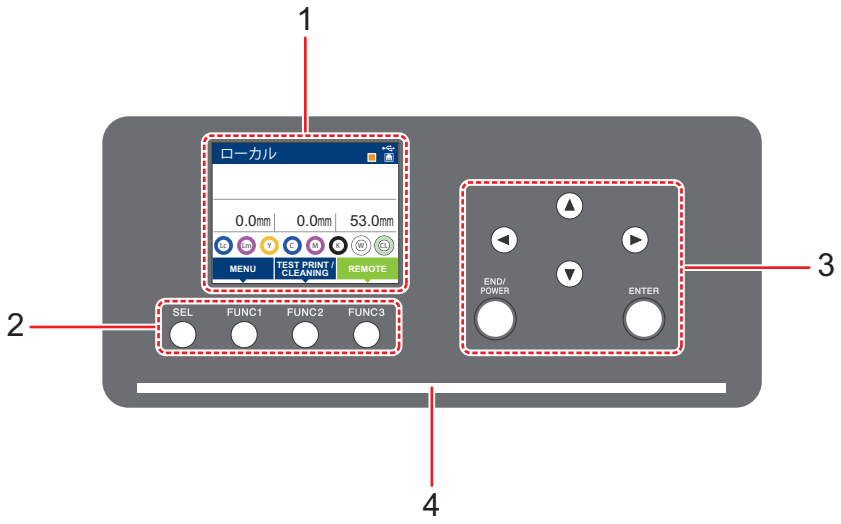
- 0 : Information : インクニアエンドなど
- 1 : 警告 : ライトカーテン検出中など
- 2 : エラー : インク漏れなど
- 3 : Emergency : Yリミットセンサ反応など

• エラーレベル1以上はプリント開始しません。

本オプションやプリンター本体の分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。
万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。



1	ディスプレイ	次の各項目が表示されます。 • 本機の状態 • インクの状態 ☞「インクの状態について」（P. 28） • [FUNC1] ～ [FUNC3]に割り当てられている機能 ☞「[FUNC1] ～ [FUNC3]に割り当てられている機能」（P. 28）	
2	[SEL]キー	ファンクションボタン([FUNC1] ～ [FUNC3])の機能を切り替えます。	
	[FUNC1] / [FUNC2] / [FUNC3]キー	各種機能の設定やテストプリントをするときなどに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL]を押すたびに切り替わります。	
3	ジョグキー ◀▶▲▼	ローカルモードでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。	
	[END/POWER]キー	直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。また、電源のオン/オフをするときに押します。(電源を切るときは、長押ししてください。)	
	[ENTER]キー	1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。	
4	状態表示ランプ	本機の状態をランプでお知らせします。	
	ランプの点灯状態と装置の状態	消灯	ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。
		水色点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。
		水色点滅	プリント実行中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。
		青色点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。
		緑色点滅	自動メンテナンスを実行中です。メンテナンスが終わるまで、一部機能が制限されます。

		黄色点滅	インクニアエンド（インク残量が残りわずか）の状態です。☞「インクニアエンドが表示されたとき」（P. 41）
		赤色点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。☞「エラーメッセージ」（P. 115）
		赤色点灯	システムエラー（SYSTEM HALT）が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞「SYSTEM HALT」（P. 124）

電源スイッチをオンにすると操作パネルの[ENTER]キーが青に点灯し、オフにすると消灯します。
電源をオフにしても自動的にメンテナンス動作が入ります。
オートメンテナンス機能
主電源スイッチ (背面) はオフにしないでください。

インクの状態について

ディスプレイにインクタンクの状態 (インク残量/ エラーなど) をアイコンで表示しています。
各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容								
	インクスロットにセットされている順番で、インク残量を9段階で表示します。 右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。								
									
	インクフル	約1/8消費	約1/4消費	約3/8消費	約1/2消費	約5/8消費	約3/4消費	約7/8消費	ニアエンド
	インクエンドまたはインクエラー状態で、インクが使用できないことを表します。								
	インク期限切れ、期限切れ1ヶ月を示します。早めに使用してください。インク期限切れ2ヶ月を過ぎると使用できなくなります。								

[FUNC1] ～ [FUNC3]に割り当てられている機能

[FUNC1] ～ [FUNC3]に割り当てられている機能の内容を説明します。

アイコン	内容
	各機能を設定する“MENU”が表示されます。
	テストプリント・クリーニングなどのメンテナンス機能が表示されます。
	ローカルモードで、リモートに移行し、プリントを開始します。
	データクリアを実行します。
	リモートにてプリントを中断し、ローカルモードへ移行します。
	テーブルの高さを下げます。
	テーブルの高さを上げます。

アイコン	内容
>>	MENU画面などで、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
<<	MENU画面などで、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
OK	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
OFF	機能を“OFF”や無効にする場合に使用します。
	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効/無効を切り替えます。
VACUUM	吸着ファンのON/OFFを切り替えます。
ORIGIN SETUP	原点の設定を行います。

本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
アイコンの色が緑色のとき: 本機がリモートの状態になっている。
アイコンの色が紺色のとき: 本機がローカルモードの状態になっている。

インクの加温状態について

インクの加温状態やエラーを色によって識別することができます。



- 橙色：設定温度に制御中です。プリント前に自動でインク加温を開始します。
- 水色：設定温度に達したあとに温度の安定制御をしている状態です。
- 緑色：インクの温度が安定している状態です。直ぐにプリントすることができます。
- 灰色：インク加温がオフの状態です。
- 赤色：インク加温に関するエラーが発生しています。

1.2 テーブルについて

多様なメディアをセットしてプリントをするために、メディアの厚みに合わせて、テーブルの高さを調整する必要があります。

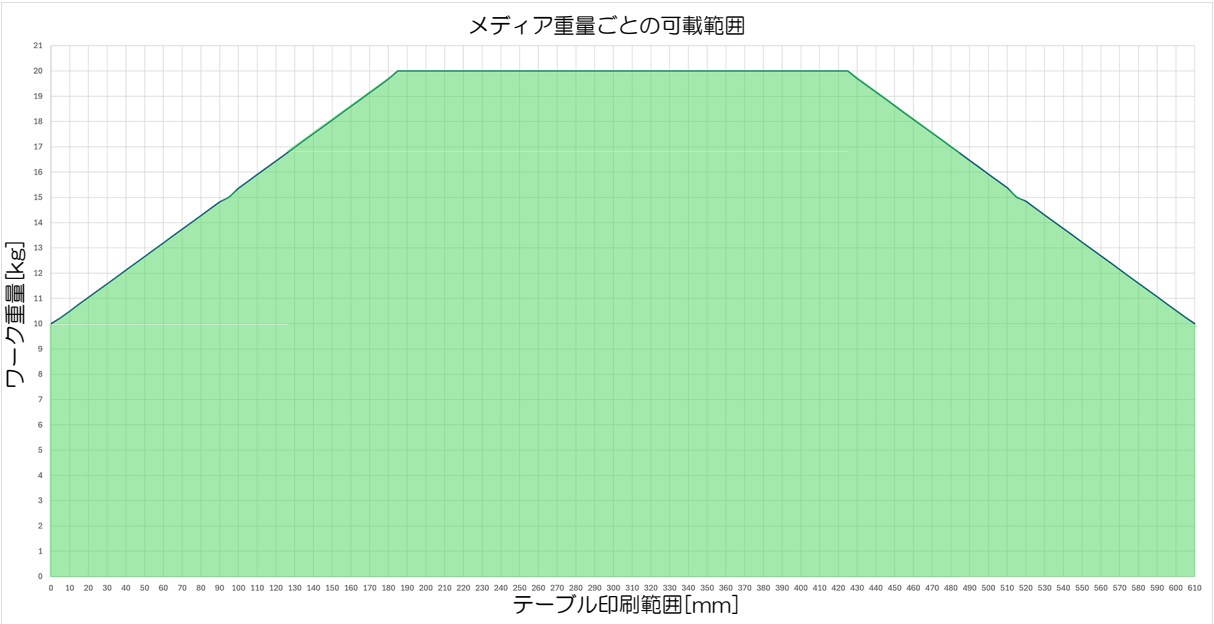
以下に各テーブルの仕様を記します。

	UJF200-3042	UJF200-6042
許容メディア重量 *1	20 kg 以下	20 kg 以下
バキューム機能	無し(オプション対応)	有り
テーブル可動域	0 ～ 250 mm	
メディア厚み	0 ～ 250mm (6inch)	

*1. 指定以上の重量物を載せると、テーブルが変形し画質低下します。

テーブル上にメディアを載せる際の注意事項

- テーブルにメディアを載せる際は、勢いよく載せないよう注意してください。テーブルが破損する恐れがあります。
- 10kgを超えるメディアを載せる際は下記グラフに従い、テーブル上に過度な偏荷重がかからないようにメディアを載せてください。
  下記グラフの範囲を超えた場合、テーブルが破損する恐れがあります。

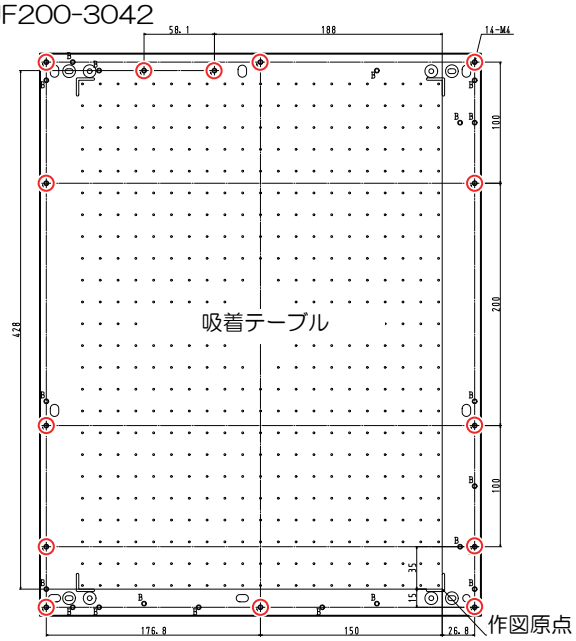


タップ位置について

メディアをセットするためのテーブルや吸着テーブルにはそれぞれ以下の寸法でM4タップ(UJF200-3042:14箇所, UJF200-6042:18箇所) が開いています。

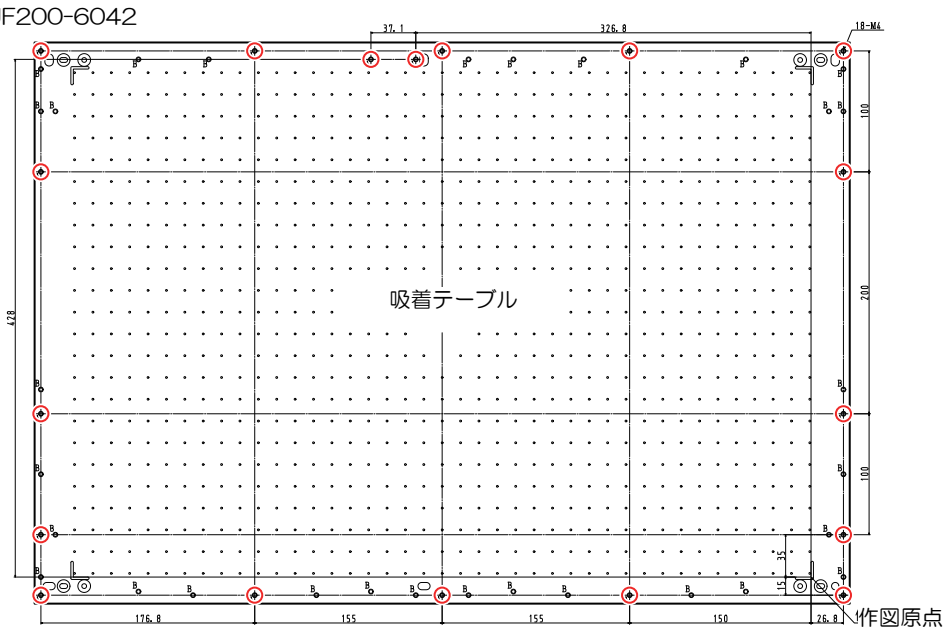
タップ穴 (図の赤丸部分) は、治具にてご使用いただけます。それ以外の穴は、断り無く位置を変更する場合があります。治具サイズは、テーブルよりはみ出さないようにしてください。

UJF200-3042



※UJF200-3042用の吸着テーブルはオプションです。

UJF200-6042

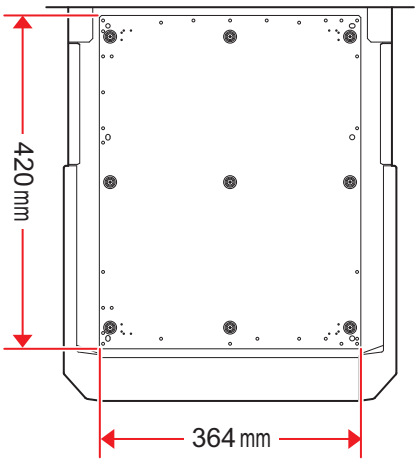


テーブルに関するご注意

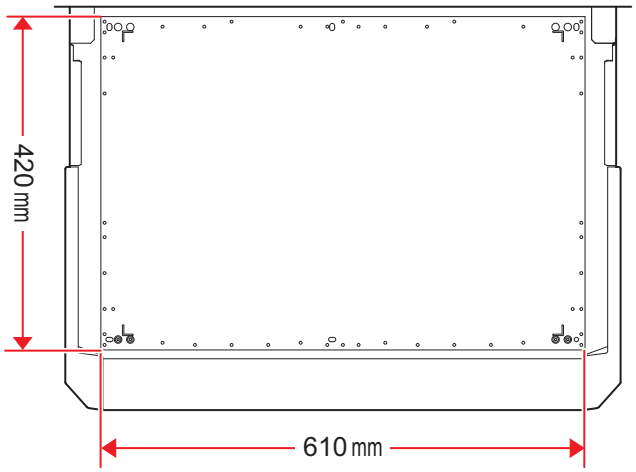
治具を使用するとき、サイズは幅 UJF200-3042: 364 mm (A3相当) / UJF200-6042: 620 mm (A2相当)、奥行き464 mm以下にしてください。

上記のサイズ以上にすると、テーブルが可動できなくなります。

UJF200-3042



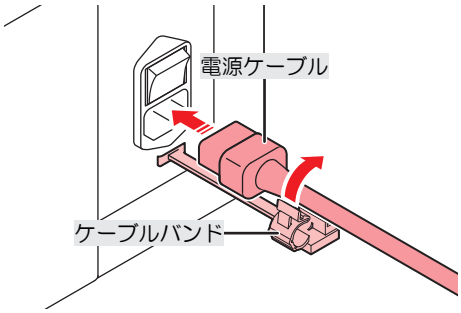
UJF200-6042



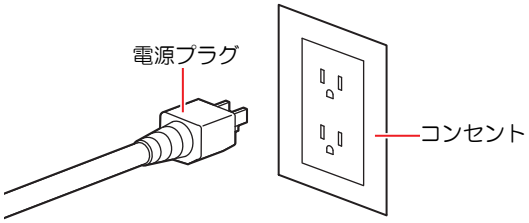
1.3 電源ケーブルを接続する

1 主電源が切れているかどうかを確認する。

2 本機のインレットに電源ケーブルを挿し込む。



3 コンセントに電源プラグを挿し込む。

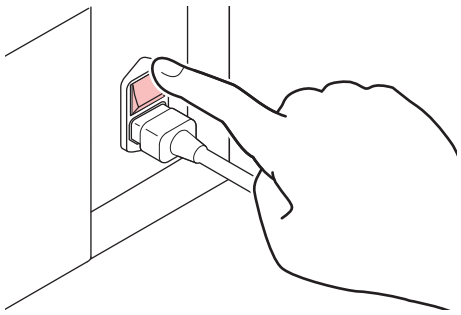


- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

電源を入れる

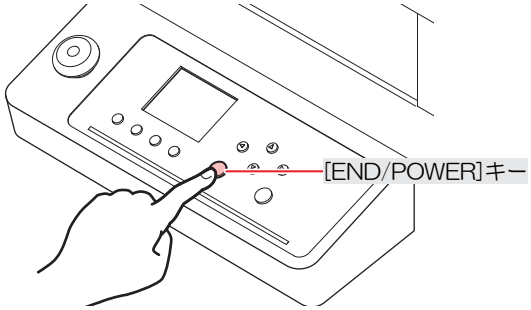
1 **主電源が入っていることを確認する。**

- 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 **[END/POWER]キーを押して、電源を入れる。**

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、ローカルモードになって本機を使用することができます。



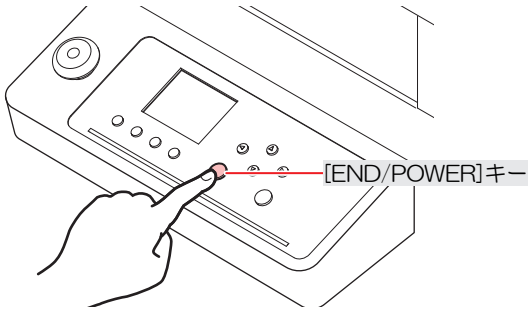
3 **接続しているコンピューターの電源を入れる。**

電源を切る

- 電源を切るときは、以下を確認してください。
  (1) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
  - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。
  (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
  - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
  (3) データを受信していないこと。
  (4) エラーが発生していないこと。
  - メッセージを表示するトラブル

1 [END/POWER]キーを押す。

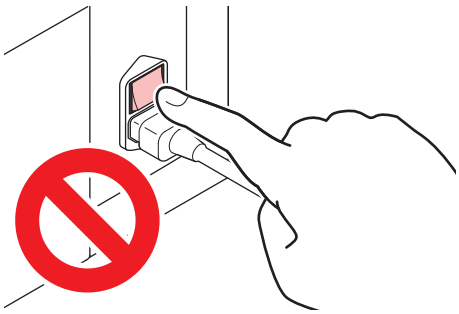
- 電源オフ確認画面が表示されます。



2 電源オフ確認画面で”スタンバイ”または”パワーオフ”を選択します。

- スタンバイ:
  本機が待機状態になり次回電源オン時、短い時間で起動できます。
- パワーオフ:
  次回電源オン時、基板やモーターの初期化を行ってから起動するため、”スタンバイ”を選択した場合より起動時間が長くかかります。

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 一定時間、プリンターの操作や造形が行われなかったときは、自動的に電源オフになります。このときの電源オフは、前回のキー操作によって電源オフしたときと同じ状態になります。次に本機をご使用になるときは、[END/POWER]キーを押してからお使いください。

3 接続しているコンピューターの電源を切る。

1.4 本機とコンピューターを接続する

USBケーブルを使う

USBインターフェイスケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

- USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。

- コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

USB接続についての注意事項

● 1台のコンピューターに複数のUJF200-3042/6042を接続する場合

UJF200-3042/6042を正常に認識できないおそれがあります。

複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。

● USBケーブルを延長する場合

市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。

USBケーブルで延長した場合、本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBハイスピードモードの周辺機器について

本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器 （USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けの USB ハードディスクドライブなどを接続すると本機へのデータ転送速度が遅くなって、プリント中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。

● USBメモリーの抜きかた

本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

LANケーブルを使う

LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● LAN接続確認方法

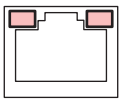
1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）
- “100Mbps”、”10Mbps”、” 接続なし”と表示されている場合は、プリントすることができません。イベントメールは、使用することができます。イベントメール機能の設定



2 LANコネクターのランプを確認する。

- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。

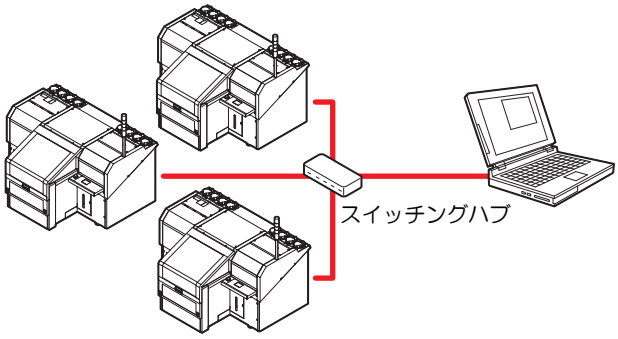


色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 • 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

● ネットワーク経由で接続するときの注意事項

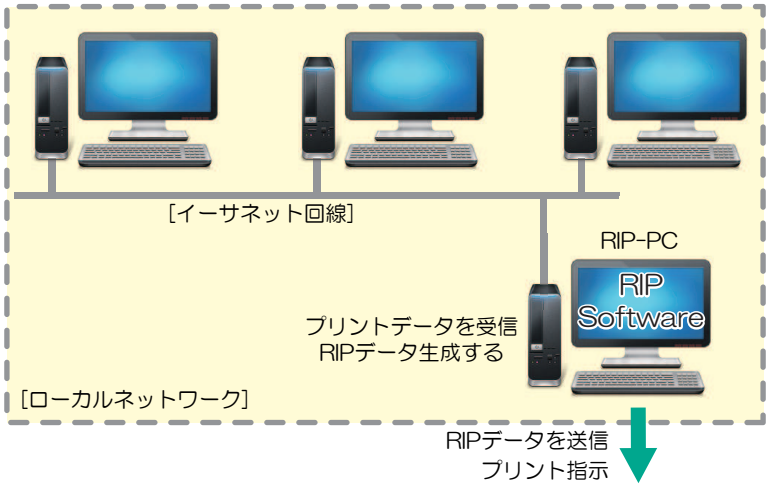
ネットワークを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

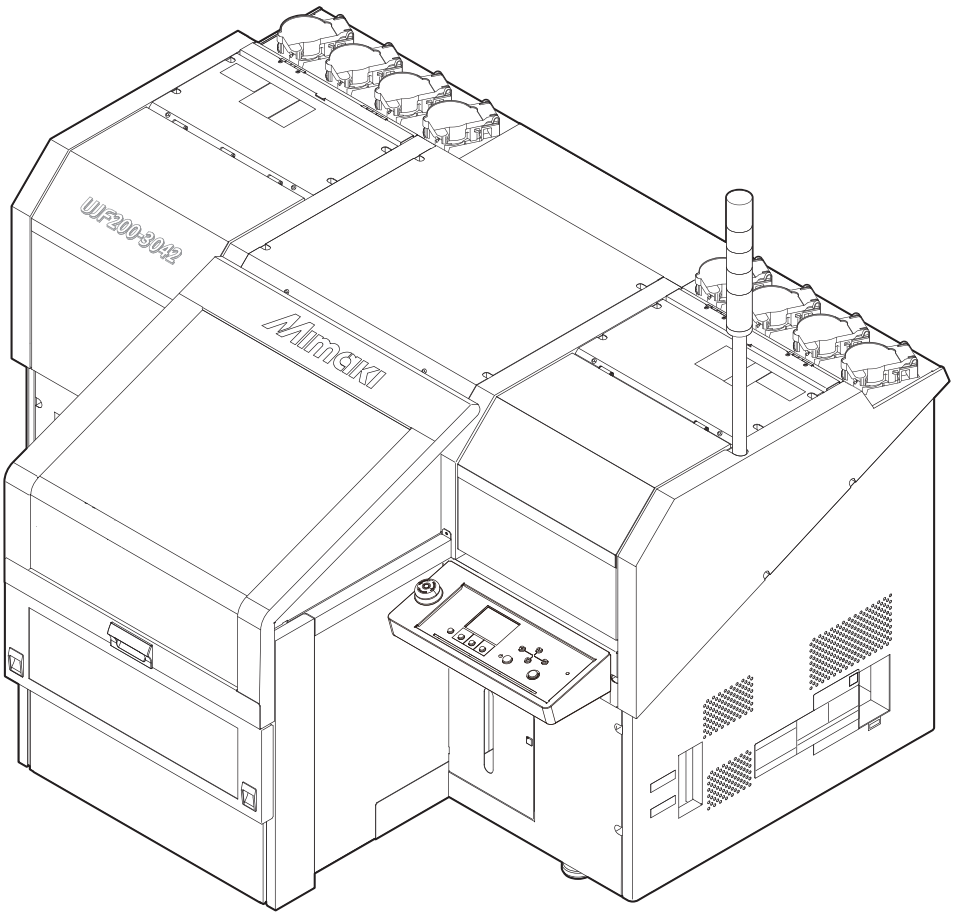
- カテゴリー6または、カテゴリー6AのLANケーブルを使用してください。
- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じネットワーク内に設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



1.5 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。





Mimakiドライバーをインストールする

1 **弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。**

- https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [UJF200-3042/6042] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 **MIMAKIドライバーをインストールする。**

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

重要! • TxLinkを使用される場合は、TxLinkの取扱説明書をご覧ください。

1 **“RasterLink”をインストールする。**

- インストールされている場合は、コンピューター のデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。



- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。"プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
  https://japan.mimaki.com/download/software.html
  [ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
  https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [UJF200-3042/6042] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

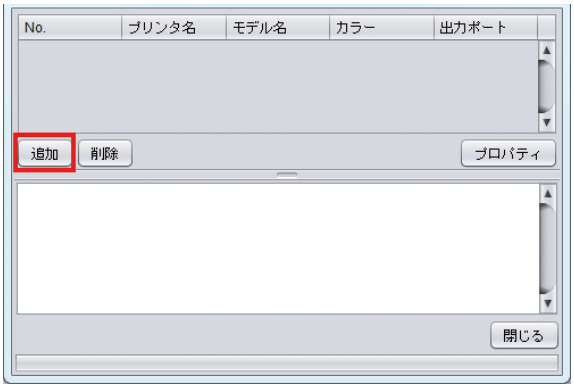
重要! • TxLinkを使用される場合は、TxLinkの取扱説明書をご覧ください。

1 “RasterLink”を起動する。

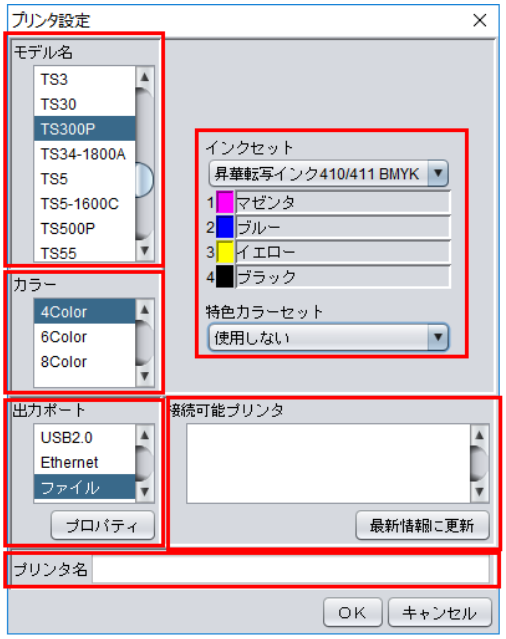
- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動した後に、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 UJF200-3042/6042を登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) UJF200-3042/6042の情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
- カラー：充填されているインクセットを選択
- 出力ポート：接続しているケーブルを選択
- 接続可能プリンタ：接続しているUJF200-3042/6042を選択
- プリンタ名：任意の名称を入力

(3) [OK]をクリックする。

- 確認画面が表示されます。

(4) [はい]をクリックする。

- プリンターの登録が開始されます。

- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

1.6 インクの交換方法

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。早めに新しいインクボトルに交換することをお勧めします。プリントの途中でインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクボトルを確認することができます。本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクボトルに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。
インクやその他本機で使用されている液体について

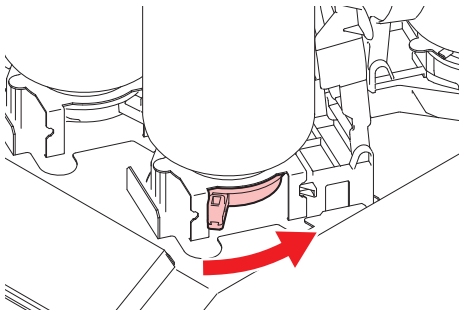


- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

インクを交換する

● インクボトルを外す

1 タンク部のレバーを左から右端まで回す。

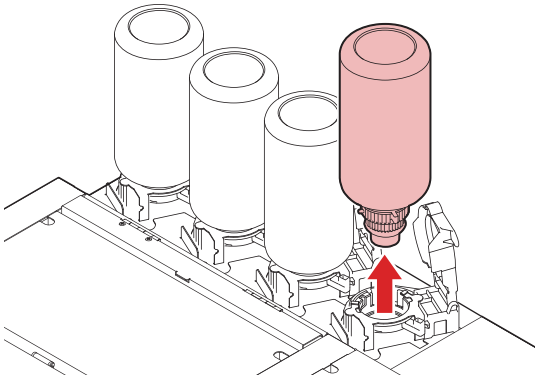




- インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

2 インクボトルを垂直に持ち上げる。

- インクが本体に垂れないように付属のPPバットを使用することをお勧めします。



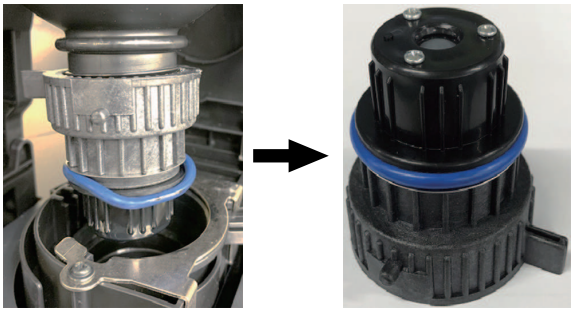


付属品PPバット

- インクボトルを外したときに、遮光カバーが閉まっていることを確認してください。遮光カバーが開いているときは手で閉めてください。遮光カバーを開いたまま放置するとインクが硬化して、故障の原因になります。
- インクボトルからのインク漏れに注意してください。

重要!

- インクボトルを外したときに、ボトルキャップに付いているOリングが外れてしまうことがあります。Oリングが外れてしまったときは、元の状態に戻してください。



3 ボトルキャップに付着しているインクを紙タオルなどで拭き取る。



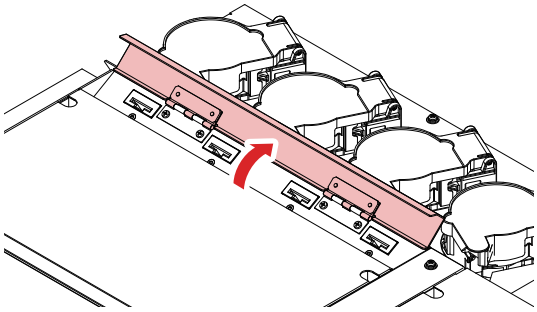
- ボトルキャップに不織布の欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まって、インクが漏れてしまう原因になります。

4 インクボトルからボトルキャップを外す。

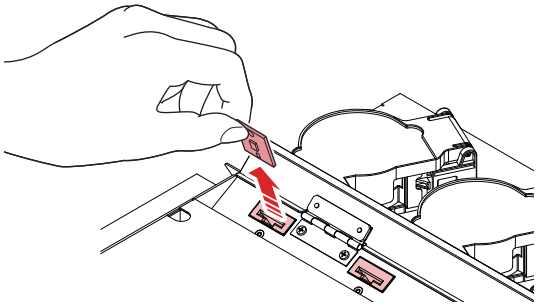
- ボトルキャップが外しづらいときは、締め付け治具を使って取り外してください。

5 ICカバーを開ける。

- ICカバーは、左右のボトルセット部それぞれにあります。



6 インクICチップを外す。



7 ICチップをセットしたら、ICカバーを閉める。

● インクボトルを準備する

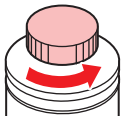
1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



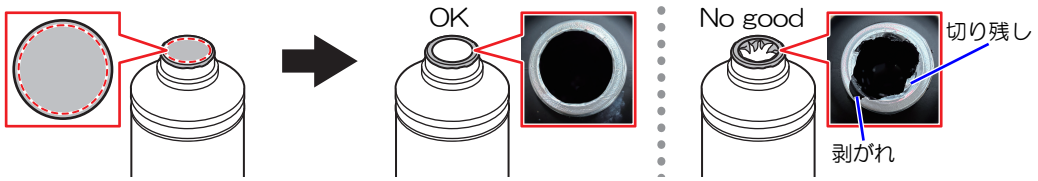
- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

2 インクボトルのフタを外す。



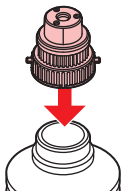
重要! インクボトルの口元にシールが付いている場合

- カッターなどを使って、シールを丸く切り取ってください。切り残しがあると、インクが漏れる原因になります。

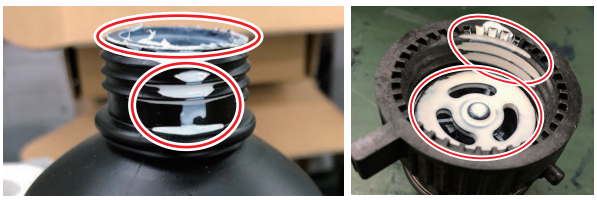


- インクボトルの口元やシールの貼り付け部を傷付けないでください。傷が付いた部分から、インクが漏れるおそれがあります。
- シールの破片をインクボトル内に落とさないように注意してください。シールの破片がボトル内に入ったまま使用すると、ボトルキャップに詰まってインクが供給できなくなるおそれがあります。

3 インクボトルに専用キャップをセットする。

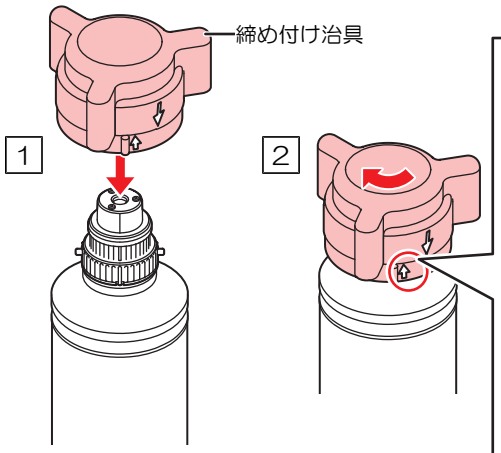


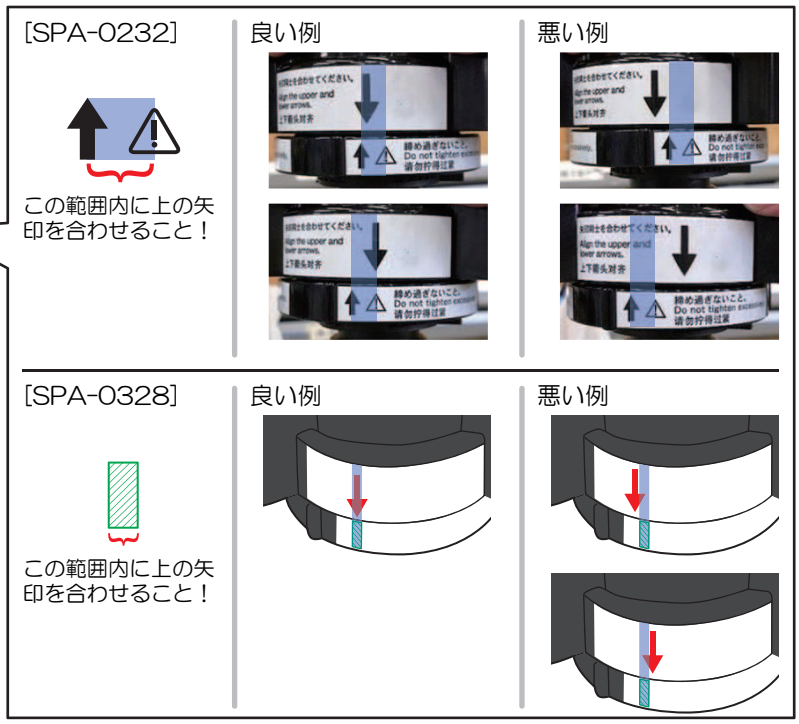
- インクボトルやボトルキャップにインクやメンテナンス液が付着しているときは、インクを拭き取ってください。ボトルキャップが空回りしてインクが漏れる原因になります。



- ボトルキャップに紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

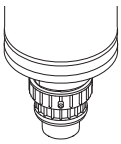
4 締め付け治具を使って、専用キャップを締める。





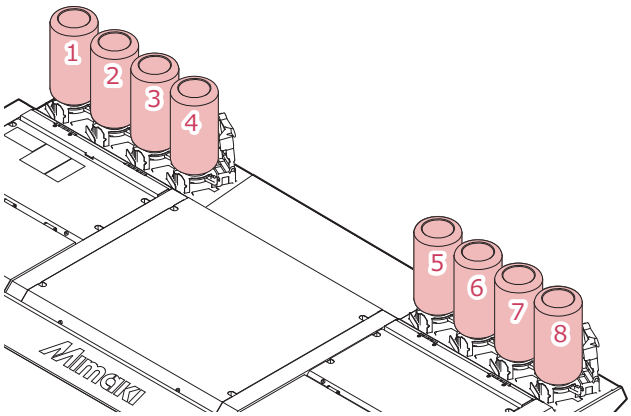
- ボトルキャップを締めすぎないでください。破損したり、空回りしたり、インクが漏れたりするおそれがあります。上記の範囲を超えた場合は、一度ボトルキャップを緩めてから、やり直してください。

5 インクボトルを逆さにして、インクが漏れないかどうかを確認する。



● インクボトルをセットする

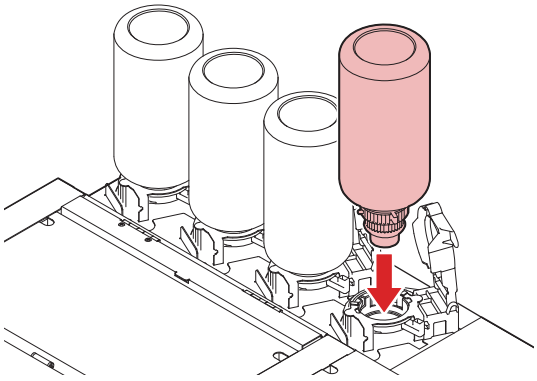
お使いになるインクセットによって、セットするインクボトルの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクボトルを挿し込んでください。



インク種	インクセット	ボトルセット							
		1	2	3	4	5	6	7	8
ELH-100 ELS-120 EFS-150	4C + Cl + Pr + W	M	C	Y	K	Cl	Pr	W	W
	6C + W	M	C	Y	K	Lc	Lm	W	W
	6C + Cl + W	M	C	Y	K	Lc	Lm	W	Cl
	6C + Pr + W	M	C	Y	K	Lc	Lm	W	Pr
	6C + Cl +Pr	M	C	Y	K	Lc	Lm	Cl	Pr
	4C + Fy + Fp + W	M	C	Y	K	Fy	Fp	W	W
	4C + Fy + Fp + Cl + W	M	C	Y	K	Fy	Fp	W	Cl
	4C + Fy + Fp + Pr + W	M	C	Y	K	Fy	Fp	W	Pr
	4C + Fy + Fp + Cl + Pr	M	C	Y	K	Fy	Fp	Cl	Pr

1 タンクにインクボトルをセットする。

- タンクのレバーを左から右端まで回してから、インクボトルをセットしてください。



- ボトルキャップのOリングにメンテナンス液を塗布すると、インクボトルが入りやすくなります。メンテナンス液は使用中のインクに対応したものを使用してください。



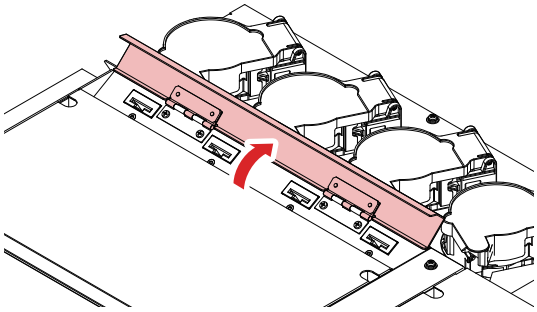
2 タンクのレバーを奥から手前へ回し固定する。

- インクボトルを絶対に回さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

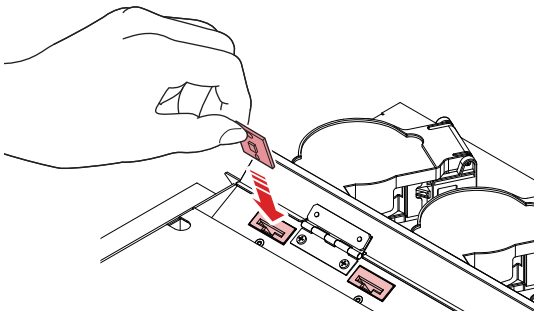
- 一度セットしたインクは使い切ってください。

3 ICカバーを開ける。

- ICカバーは、左右のボトルセット部それぞれにあります。



4 インク供給ユニットの挿し込み口に新しいインクICチップを挿し込む。



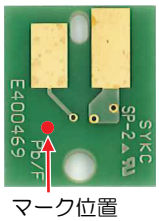
- インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違えて挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

5 ICチップをセットしたら、ICカバーを閉める。

- **インクICチップについて**

  インクICチップのマークは、色情報を示しています。



マーク位置

インクカラー	表示マーク
シアン	（青丸1つ）
マゼンタ	（赤丸1つ）
イエロー	（黄丸1つ）
ブラック	（黒丸1つ）
ライトシアン	（青丸2つ）
ライトマゼンタ	（赤丸2つ）

インクカラー	表示マーク
蛍光ピンク	●● （橙丸2つ）
蛍光イエロー	●● （黄丸2つ）
ホワイト	○ （白丸1つ）
クリア	○○ （白丸2つ）
プライマー	○○○ （白丸3つ）



- インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクICチップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。



- インクICチップを抜いたり挿したりしたときに、SYSTEM ALARMが表示されることがあります。新しいインクICチップを挿しても、プリントできない場合は、ALARMをクリアしてください。

第 2 章　基本的な使い方



この章では...

プリントするためのインク/メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

プリントの流れ 50
メディアをセットする.....51
　メディアについて 51
　メディアの厚みを設定する..... 51
　原点を変更する..... 52
　メディアをセットする 53
テストプリントをする.....54
　ホワイト確認用のテストパターンでテストプリントを行う..... 55
データをプリントする 56
　プリントを開始する.....56
　プリントを中止する.....56
　プリントデータ受信中または受信済みの確認 57
　“! ワーク 高い”を表示したら 57
　プリント中にカバーを開けてしまった場合57

2.1 プリントの流れ

1. 電源を入れる

☞「電源を入れる」（P. 34）

2. RIP用コンピューターと本機を接続する

☞「USBケーブルを使う」（P. 36）
☞「LANケーブルを使う」（P. 36）

3. RIP用ソフトウェアを準備する

☞「RIP用ソフトウェアをインストールする」（P. 39）（初回のみ）
☞「カラープロファイルを入手する」（P. 39）
☞「RIP用ソフトウェアを準備する」（P. 39）（初回のみ）

4. メディアをセットする

☞「メディアをセットする」（P. 51）

5. データをプリントする

☞「データをプリントする」（P. 56）

6. 電源を切る

☞「電源を切る」（P. 35）

2.2 メディアをセットする

重要! メディア外周部は、熱により反り返ることがあります。補助的に粘着テープなどを使って固定してください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

UVインクのプリント結果には、硬化しきれないインクの成分が少量残留しています。また、未反応のインク成分は人体に有害な可能性があります。そのため、下記用途への印刷には適しておりませんので、事前に用途をご確認ください。

(1) 食品包装用途
(2) 玩具等、子供が口に入れる可能性のあるもの
(3) 服飾等、直接人体に触れる可能性のある布、皮革など
(4) 直接人体に触れる、人体に入れる可能性のある医療機器など

使用可能メディアサイズ

	UJF200-3042	UJF200-6042
最大幅	300 mm	610 mm
最大長	420 mm	420 mm
最大プリント幅	300 mm	610 mm
最大プリント長	420 mm	420 mm
メディア厚み	250mm 以下 （9.8inch）	
重量	20 kg以下	

メディア取り扱い上の注意

装置破損や印刷物不良発生を防ぐため、次の点にご注意ください。

メディアの伸縮
包装を開けて間もないシート状のメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、30分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。

メディアの反り
板状メディアは、平らな物、プリント面を上にして下に反っている物 (中央が浮いている物) をご使用ください。反りやすいメディアは、一回り小さめの台やパレットの上に置くなど、下反りになるように保管してください。
反りや変形が生じるメディアは使用しないでください。

コート紙の表面に物を置かないでください。コート紙によっては変色する場合があります。

吸着しきれないカールしたメディアや、テーブル移動時にずれてしまうメディアは使用できません。テープ貼付などでメディアを固定してからご使用ください。

メディアの厚みを設定する

1 ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。

2 ▲▼を押して“ヘッド高さ”を選択する。

3 [ENTER]キーを押す。

4 “メディア厚み”を選択して[ENTER]キーを押す。

5 ▲▼を押してメディアの厚みを設定する。

6 [ENTER]キーを押す。

治具を使用する場合、治具の高さ+メディア厚みを入力します。
集中荷重となるようなメディアの置き方は避けてください。

原点を変更する

お買い上げ時に設定されている原点の位置をジョグキー▲▼◀▶または「原点設定メニュー」(☞ 「原点設定メニュー」（P. 63）)で変更します。ここではジョグキーを使用して変更する方法を説明します。

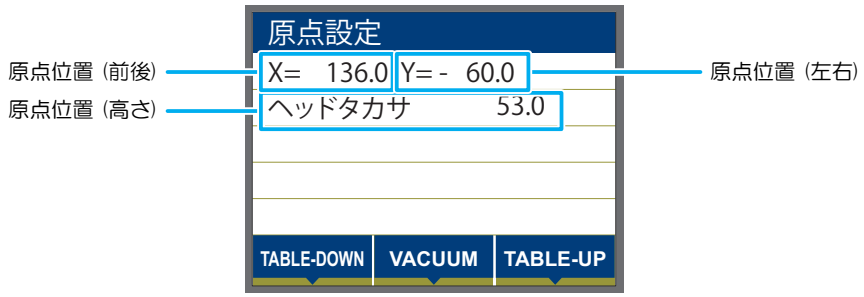
1 [FUNC1]キー (下降)、[FUNC3]キー (上昇) を押してテーブルの高さを調整する。

- 原点と同時にテーブルの高さも確定されるため、あらかじめテーブルの高さを調整しておきます。

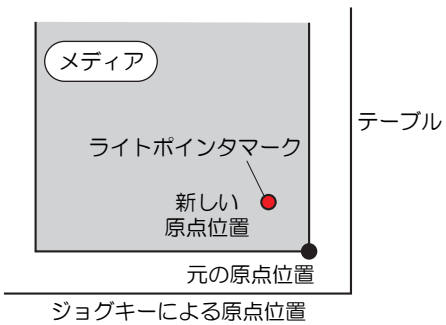
2 ローカルモードで▲▼◀▶を押す。

- 原点設定モードになります。
- テーブル、またはメディア上に赤いライトポインター「●」マークが映ります。

3 ▲▼◀▶を押して、ライトポインターマークを移動させる。



- 新しく原点を設定する位置に、ライトポインターマークを移動します。



4 プリント原点を決定したら、[ENTER]キーを押す。

- 原点が変更されます。

重要! ジョグキーで設定した原点は、電源を切ると設定値がクリアされます。
テーブルの高さは、電源を切ってもクリアされません。

メディアをセットする

メディアを、テーブル右端のL字のマーク (プリント原点) に合わせてセットします。

プリント原点を変更する場合は、☞「原点を変更する」（P. 52）を参照してください。
治具を使用する場合は、テーブル端にあるタップ (深さ8.0mm) を使用してください。

メディアをセットしやすいように、以下の手順でテーブルを下げてセットすることができます。

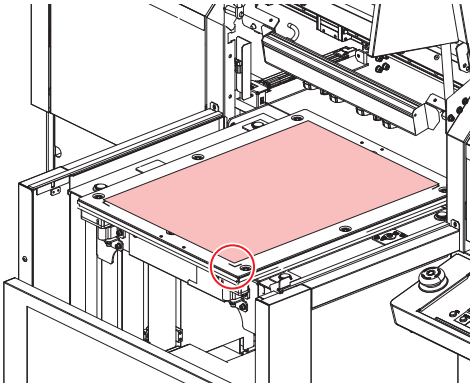
1 **ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。**

2 **▲▼を押して“ワークセット”を選択する。**

3 **[ENTER]キーを押す。**

- テーブルが下がります。

4 **メディアを、テーブル右端のL字のマーク (プリント原点) に合わせてセットする。**



5 **[ENTER]キーを押す。**

- テーブルがプリント時の高さまで上がります。

吸着ファンの切り替えについて

プリント時にメディアを固定するための吸着機能が自動的に起動します (吸着テーブル使用時)。

吸着機能の動作を設定することができます。詳しくは、ファンモードの設定を参照してください。
設定モードの「ファンモード」で設定を“マニュアル”にしている場合、[SEL]キーを押し[FUNC1] (VACCUM)キーを押して、吸着ファンのON/OFFを切り替えてください。

2.3 テストプリントをする

指定方向にテストプリントを行い、ノズル詰まりなどのプリント不良 (カスレや抜け) が無いか確認します。

白インクやクリアインクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。

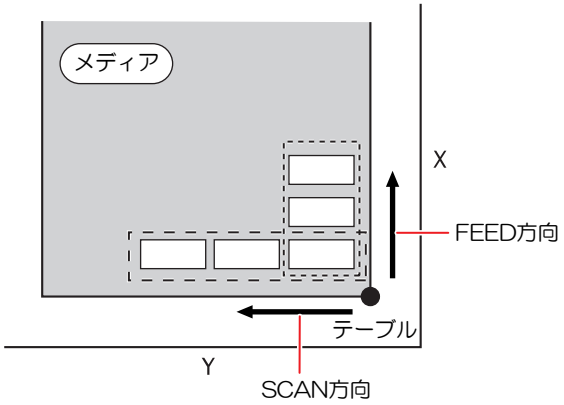
テストプリントの前に確認してください
• メディアをセットしているか (☞「メディアをセットする」（P. 51）)
• 原点位置をセットしているか (☞「原点を変更する」（P. 52）)
• テーブル高さは適正か (☞「ヘッド高さメニュー」（P. 60）)

1 ローカル画面から[FUNC2]を押し、 [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- テストプリントメニューが表示されます。

2 ▲▼を押してプリント方向を選択し、[ENTER]キーを押す。

- ノズルリカバリーが設定されていない場合、指定方向にテストプリントを開始します。
  SCAN方向 : メディアのスキャン (横) 方向に配置
  FEED方向 : メディアのフィード (奥行き) 方向に配置

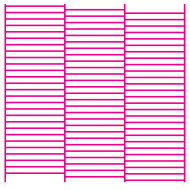
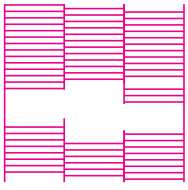
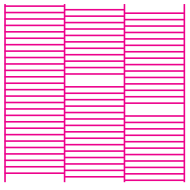
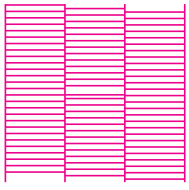


- ノズルリカバリーが設定されている場合、▲▼を押してON/OFFを設定した後、[ENTER]キーを押します。
  ON : ノズルリカバリー“ON”でプリントします。
  OFF : ノズルリカバリー“OFF”でプリントします。

重要! ヘッドの温度が一定温度になっていない場合は、メッセージが表示されます。この場合は、プリントできません。表示が消えると、プリントができます。

3 プリント結果を確認する。

- 正常な場合は、データをプリントしてください。
  ☞「プリントを開始する」（P. 56）
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。

正常なパターン	異常なパターン		
–	ドカ抜け	ノズル抜け	飛行曲がり
			

正常なパターン	異常なパターン		
–	たくさんの線が抜けている	線がところどころ抜けている	線の間隔が詰まったり二重になったりしている

ホワイト確認用のテストパターンでテストプリントを行う

パターン中のホワイトインク箇所に、下地をプリントすることで、確認しやすくします。

1 **ローカルモードで[FUNC2] (TEST PRINT/CLEANING)を押し、[ENTER]キーを押す。**

- テストプリントメニューが表示されます。

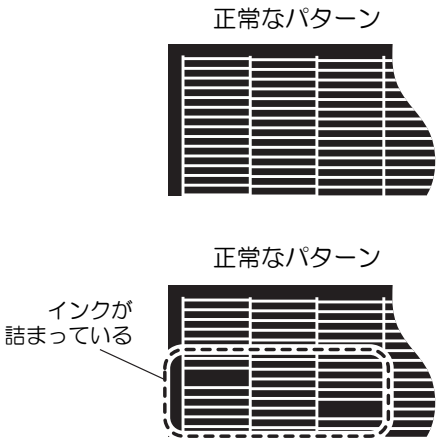
2 **▲▼を押して“特色確認”を選択する。**

3 **[ENTER]キーを押す。**

- 次の順番で、テストパターンがプリントされます。
  (1) 黒塗りつぶしパターンがプリントされる。
  (2) メディアが自動的に戻り、テストパターンがプリントされる。

4 **プリント結果を確認する。**

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。



2.4 データをプリントする

プリントを開始する

重要! ヘッドの温度が一定温度になっていない場合は、メッセージが表示されます。この場合は、プリントできません。表示が消えると、プリントできます。
エラー表示がされていても、データは送信できます。プリントは表示が消えてから開始します。

1 メディアをセットする。

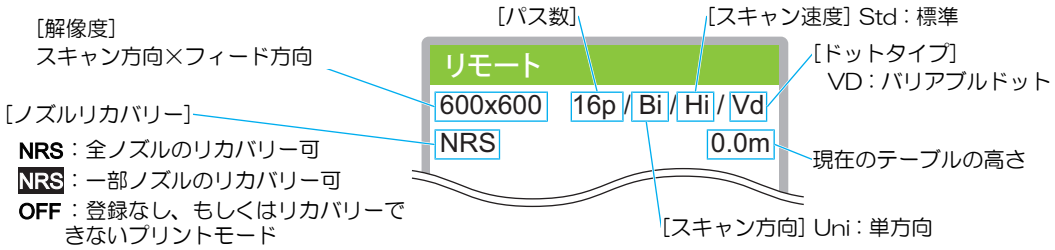
- ☞「メディアをセットする」（P. 51）を参照してください。
- ファンモードの設定を”マニュアル”に設定している場合、用途に応じて[SEL]キーを押して[FUNC1] (VACUUM)キーを押し、メディアを吸着させます。

2 ローカルモードで[FUNC3] (REMOTE) を押す。

- リモートモードになり、コンピューターからのデータを受信できるようになります。
- テーブルの高さ (吸着テーブルとテーブルスペーサーを含む) が表示されます。

3 コンピューターからプリントするデータを送信する。

- プリント条件が表示されます。
- データの送信方法については、出力するソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。



4 プリントを開始する。

- プリント原点は、プリントが終了しても変更されません。

5 プリント終了後、吸着を“ON”にしている場合、[FUNC1] (VACUUM)を押して、吸着を“OFF”にする(吸着テーブル使用時)。

6 メディアを取り外す。

重要! プリント中に、LED UVによる熱でメディアが浮き上がり、プリントが中断される場合があります。新しいメディアをセットしなおし、プリントを開始してください。

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、プリント動作を止め、すでに受信したデータを本機から消去します。

1 プリント中に、[FUNC3] (LOCAL) を押す。

- プリント動作を中止します。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を止めます。

[FUNC3] (REMOTE) キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

2 [SEL]キーを1回押す。

- ディスプレイ下段に“DATA CLEAR”が表示されます。

3 [FUNC3] (DATA CLEAR)を押す。

4 [ENTER]キーを押す。

- 受信データを消去し、ローカルモードに戻ります。
  テーブルは、退避位置へ移動します。

プリントデータ受信中または受信済みの確認

プリントを中断した場合や、ローカル状態でプリントデータを受信した場合、ディスプレイにはワーニングメッセージ“!プリントデータあり”が表示されます。

このとき[FUNC3] (REMOTE) を押してリモートに移行すると、プリントを再開または開始します。

“! ワーク 高い”を表示したら

プリント中、ディスプレイにワーニングメッセージ“!ワーク高い”を表示してプリントが中断した場合は、次のようにしてプリントを再開してください。

重要! プリント中は、常にセンサーでメディアの高さを監視しています。ギャップチェック機能 (☞「ギャップチェック」（P. 61）) の設定/ モードがそれぞれ"ON"/" 停止" の場合センサーがメディアを検出すると、自動的にプリントを中断し、ディスプレイに“!ワーク高い”が表示されます。

1 [ENTER]キーを押す。

- ローカルモードに戻ります。

2 メディアのセット状態を確認し、[FUNC3] (REMOTE)を押す。

- プリントを再開します。
- プリントを再開しない場合は、☞「プリントを中止する」（P. 56）を参照してプリントを中止してください。

プリント中にカバーを開けてしまった場合

プリント中にカバーを開けると、ディスプレイにワーニングメッセージ“カバーを閉じてください”が表示されます。

1 カバーを閉じて[ENTER]キーを押し、印刷を中断させる。

- 初期化動作を開始します。

プリントを行っていないときにカバーを開けるとディスプレイに“カバーを閉じてください”が表示されます。この場合は、[ENTER]キーを押してください。

第 3 章　各種設定



この章では...

本機の各種設定方法について説明しています。

ヘッド高さメニュー 60
　ギャップチェック 61
原点設定メニュー.....63
　Z原点の設定 64
　ジョグキーを使って原点を変更する..... 64
使用メディア選択メニュー 66
メディア設定メニュー.....67
機能設定メニュー.....69
　自動補正をする.....71
　フィード補正の設定.....71
メンテナンスニュー 73
　ノズルリカバリーを登録する 75
　ノズルチェックとは.....76
環境設定メニュー.....77
　ネットワークの設定.....79
　受入/ 回収位置の設定 (MDL コマンド) 80
マシンステータスメニュー 81

3.1 ヘッド高さメニュー

メディアの厚みやテーブル高さなどの条件を設定します。

● メニュー一覧

機能名称	設定値	初期値	概要
メディア厚み	0.0 ～ 250.0 mm	0.0 mm	メディアの厚みを設定します。
ヘッドギャップ	1.5 ～ 4.0 mm	1.5 mm	ヘッドギャップを設定します。
ギャップチェック ☞「ギャップチェック」（P. 61）	ON / OFF	ON	プリント中に障害物を検出したときの動作を指定します。

ギャップチェック

プリント中に障害物を検出したときの動作を設定します。

1 ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。

2 ▲▼を押して“ヘッド高さ”を選択する。

3 [ENTER]キーを押す。

4 ▲▼を押して“ギャップチェック”を選択し、[ENTER]キーを押す。

5 ▲▼を押してモードを設定する。

- 設定値 : ON, OFF
- “ON”の場合
  動作の選択が可能です。
  オート, マニュアル, 停止の3種類から選んでください。

モード		概要	障害物センサー		センサー反応時の動作
			プリント前	プリント中	
ON	オート	プリントする前に、指定したテーブル高さ (メディア厚み) でメディアの高さをチェックします。また、プリント前およびプリント中に障害物センサーが反応したら、反応しなくなるまでテーブルを下げて、”テーブル高さ”を設定しなおします。 テーブルを一番下まで下げても障害物センサーが反応するときは、”ワーク高い”を表示して停止します。	有効	有効	テーブルを下げる
	マニュアル	手動でメディアの高さを設定できます (ギャップ設定)。 プリント前およびプリント中のメディアの高さチェックは行いません。	無効	無効	なし
	停止	プリントする前に、指定したテーブル高さ (メディア厚み) でメディアの高さをチェックし、障害物センサーが反応したら”ワーク高い”を表示して停止します。	有効	有効	停止 (テーブルは下げない)
OFF		メディアの高さチェックを行わずにプリントします。	無効	無効	なし

“ON” - “マニュアル”モードまたは“OFF”モードの場合、メディアとヘッドが衝突する恐れがあります。必ず、プリントする前にメディアの高さを目視で確認してください。

6 [ENTER]キーを押す。

7 終了するとき、[END/POWER]キーを数回押す。

ギャップチェック機能は、障害物を検出してヘッドとの衝突を完全に防ぐ機能ではありません。
また、メディアの形状・材質により検出精度が悪化する可能性もあります。
ギャップチェックが“ON”の場合でも、メディアの高さを目視で確認してからプリントしてください。

3.2 原点設定メニュー

オンラインプリントまたは内蔵パターンをプリントする際のX, Y原点とZ原点を設定します。

● メニュー一覧

機能名称	設定値	初期値	概要
Xオフセット(REM)	0.0 mm ~ 420.0 mm	0.0 mm	オンラインプリントのX軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Yオフセット(REM)	0.0 mm ~ 300.0 mm (UJF200-3042) 0.0 mm ~ 610.0 mm (UJF200-6042)	0.0 mm	オンラインプリントのY軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Xオフセット(LOC)	0.0 mm ~ 420.0 mm	0.0 mm	テストプリントなど内蔵パターンのX軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Yオフセット(LOC)	0.0 mm ~ 300.0 mm (UJF200-3042) 0.0 mm ~ 610.0 mm (UJF200-6042)	0.0 mm	テストプリントなど内蔵パターンのY軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
Z原点 ☞「Z原点の設定」（P. 64）	1.5 mm ~ 251.5 mm	1.5 mm	Z原点 (テーブル高さ) を設定します。

Z原点の設定

1 ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。

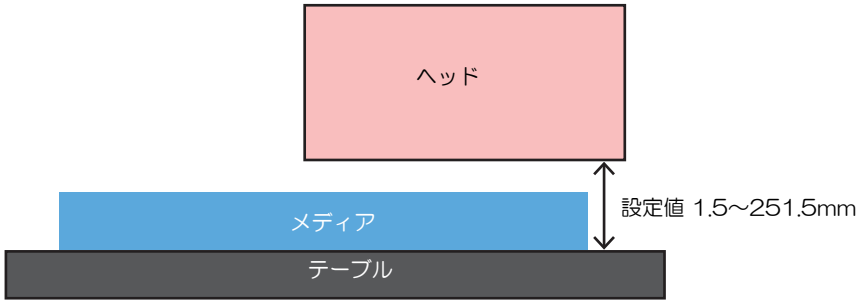
2 ▲▼を押して“原点設定”を選択する。

3 [ENTER]キーを押す。

4 ▲▼を押して“Z原点”を選択し、[ENTER]キーを押す。

5 ▲▼を押してZ原点位置を設定する。

- 設定値 : 1.5 mm ~ 251.5 mm



6 [ENTER]キーを押す。

7 終了するとき、[END/POWER]キーを数回押す。

ジョグキーを使って原点を変更する

ジョグキーを使って原点を変更する方法を説明します。

1 [TABLE-UP], [TABLE-DOWN]を押してテーブルの高さを調整する。

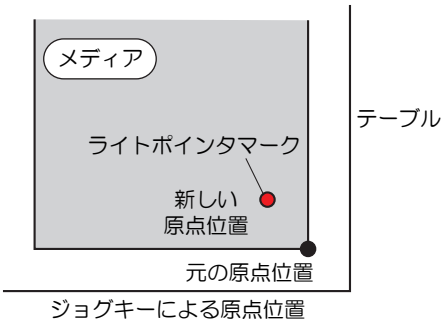
- 原点と同時にテーブルの高さも確定されるため、あらかじめテーブルの高さを調整しておきます。

2 ローカルモードで、▲▼◀▶を押す。

- 原点設定モードになります。
- テーブル、またはメディア上に赤いライトポインターマークが映ります。

3 ▲▼◀▶を押して、ライトポインターマークを移動させる。

- 新しく原点を設定する位置に、ライトポインターマークを移動します。



4 **[ENTER]キーを押して、プリント原点を設定する。**

- 原点とテーブルの高さが変更されます。

重要! ジョグキーで設定した原点は、電源を切ると設定値がクリアされます。
テーブルの高さは、電源を切っても保持されます。

3.3 使用メディア選択メニュー

メディアの設定を個別に保存できます。

● メニュー一覧

機能名称	設定値	初期値	概要
使用メディア選択	メディア1/未登録	メディア1	1~60の個別の設定を保存できます。



・ [未登録]は、任意で59件登録することができます。[未登録]を選択した場合、メディア名称を入力して登録完了となります。

3.4 メディア設定メニュー

使用するメディアに合わせて重ね塗りやリフレッシュレベルなどの条件を設定します。

● メニュー 一覧

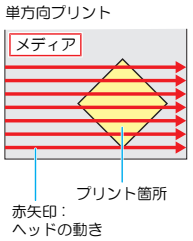
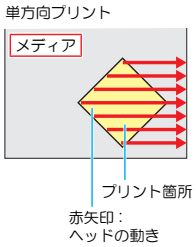
機能名称		設定値	初期値	概要
メディア情報		-	-	メディアの情報を入力します。
	メディア厚み	0.0~250.0mm	0.0mm	メディアの厚みを入力します。
	ヘッドギャップ	1.5~4.0mm	1.5mm	ヘッドギャップを入力します。
原点設定		-	-	プリント原点を設定します。
	Xオフセット(REM)	0.0 mm ~ 420.0 mm	0.0 mm	オンラインプリントのX軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
	Yオフセット(REM)	0.0 mm ~ 300.0 mm(UJF200-3042) 0.0 mm ~ 610.0 mm(UJF200-6042)	0.0 mm	オンラインプリントのY軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
	Xオフセット(LOC)	0.0 mm ~ 420.0 mm	0.0 mm	テストプリントなど内蔵パターンのX軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
	Xオフセット(LOC)	0.0 mm ~ 420.0 mm	0.0 mm	テストプリントなど内蔵パターンのX軸原点位置 (オフセット値) を設定します。
	Z原点☞「Z原点の設定」（P. 64）	1.5 mm ~ 251.5 mm	1.5 mm	Z原点 (テーブル高さ) を設定します。
UVモード		ON / OFF / 印刷無し	ON	プリント中のUV照射の指定をします。
UV光量調整		-50 ~ +50%	0%	あらかじめ設定されているUV-LEDライトの光量を変更することができます。プリントしたあとに、性能（ベタつき、臭気など）を確認してください。 • マイナス方向：硬化を弱くしたいとき。 • プラス方向：硬化を強くしたいとき。
ワークチェンジ		ON / OFF	OFF	• OFF: オンライン作図後、リモート状態を保持（次の作図データを受信している場合は、重ね書きされます） • ON : オンライン作図後、ローカルに戻ります。
吸着ファン		AUTO/MANURAL	AUTO	• AUTO : 作図前、自動的にバキューム機能を ON にしたいとき • MANURAL : セットするメディアに合わせてバキュームのON/OFFを切り替えたいとき
MAPS*		-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass Systemパスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。* MAPSのバージョンは、機種によって異なります。
	MAPS*	AUTO/ OFF	AUTO	通常は“AUTO”で使用してください。“MANUAL”に設定すると、以下の項目が表示されます。

機能名称			設定値	初期値	概要
		速度	50 ~ 100 %	100 %	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
		スムージングレベル（カラー）	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。カラーとスポットカラー（白）、それぞれ設定してください。
		スムージングレベル（スポット）			
イオナイザー			ON / OFF	OFF	イオナイザー（オプション）を使用するときに設定します。「イオナイザー」（P. ＊＊＊）メディアを除電しながらプリントします。プリントしていないときは、除電針は通電されません。
メディア名称変更			-	-	設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。
メディア設定初期化			-	-	選択中のメディア設定の設定値を初期化します。
メディア削除			-	-	メディアを選択して削除します。現在選択中のメディアを削除した場合は、再度、使用メディア選択になります。

3.5 機能設定メニュー

使用するメディアに合わせて重ね塗りやリフレッシュレベルなどの条件を設定します。

● メニュー 一覧

機能名称	設定値	初期値	概要
フィード補正 ☞「フィード補正の設定」（P. 71）	-9999～0～9999	0	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
自動補正			自動補正機能（DAS2：Dot Adjustment System2）は、補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します。☞「自動補正をする」（P. 71） • メディアに浮きがないことを確認してください。 • 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • 合成紙やターポリン、布系メディアなどは、検出できないことがあります。 • パターンのプリント実行中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。 • 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。[MENU] > [機能設定] > [フィード補正]
ロジカルシーク	ホスト / ON / OFF	ホスト	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。 ロジカルシーク“OFF”時のヘッドの動き  ロジカルシーク“ON”時のヘッドの動き 
電源設定	-	-	自動で電源ON / OFFする時間を設定します。
オートパワーオフ	5 ~ 60	5	自動で電源を切る時間を設定します。
オートパワーオン	-	-	自動で電源を入れる時間を設定します。
設定	ON / OFF	ON	電源を入れるかどうかを設定します。
時刻	0:00 ~ 23:59	0:00	電源を入れる時刻を設定します。

機能名称				設定値	初期値	概要
		曜日		月 ~ 日	日	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。
		ノズルチェック		ON / OFF	ON	オートパワーオンで起動されたとき、自動でノズルチェック機能を実行します。"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
			クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	ソフト	クリーニングタイプを設定します。
			リトライ回数	0 ~ 3 回	0	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。

自動補正をする

自動補正機能（DAS2：Dot Adjustment System2）は、フィード補正とドット位置補正を自動で実施します。

1 **メディアをセットする。**

- ☞「メディアをセットする」（P. 51）を参照してください。

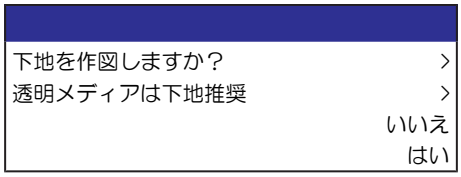
2 **ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。**

3 **▲▼を押して“機能設定”を選択する。**

4 **“自動補正”を選択して、[ENTER]キーを押す。**

5 **下地の作図を行うか選択し、[ENTER]キーを押す。**

- 本画面はホワイトありのインクセットの場合のみ表示されます。
- 該当するインクセット：LUS-210：4C+W、4C+ClW、ELS-170：4C+ClW



6 **[ENTER] キーを押す。**

- 調整を開始します。



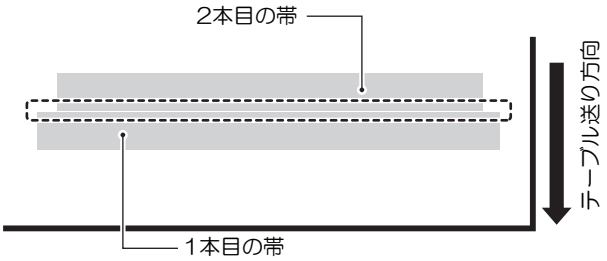
補正項目
• フィード補正

- メディアに浮きがないことを確認してください。
- 汚れのないメディアを使用してください。
- 合成紙やターポリン、布系メディアなどは、正常に補正できないことがあります。
- ホワイトなしインクセットの場合は下地を作図できないため、色付きメディア、透明メディアで正常に補正できないことがあります。
- パターンのプリント実行中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。
- 自動補正に失敗したり、自動補正を実施しても調整がずれている場合は、以下のメニューを手動で実施してください。
  [機能設定] > [フィード補正] ☞「フィード補正の設定」（P. 71）

フィード補正の設定

補正パターンを作図して、フィード送り量の補正を行います。

補正パターンでは2本の帯を作図します。2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。



1 メディアをセットする。

- ☞「メディアをセットする」（P. 51）を参照してください。

2 ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。

3 ▲▼を押して“機能設定”を選択する。

4 [ENTER]キーを押す。

5 ▲▼を押して“フィード補正”を選択し、[ENTER]キーを押す。

6 [ENTER]キーを押して、補正パターンを作図する。

7 補正パターンを確認し、補正値を入力する。

- 設定値 : -9999～0～9999
- “＋”に入力すると :
  2本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- “－”に入力すると :
  2本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を“1”変更するごとに、約0.83 µm 帯が移動します。

8 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンを作図して確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順7の操作をして補正してください。

9 終了するとき、[END/POWER]キーを数回押す。

3.6 メンテナンスニュー

本機のメンテナンスをするための各種設定です。
メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。

● メニュー 一覧

機能名称	設定値	初期値	概要
ステーションメンテ	-	-	キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。
キャリッジアウト	-	-	キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパーなどの清掃を行います。
ステーション左側	-	-	キャップやワイパーなどステーション周辺を清掃します。☞「キャップゴムの清掃」（P. 90）☞「布ワイパーの交換」（P. 98）
メンテスペースまで移動	-	-	プリントヘッド周辺を清掃します。
ノズル洗浄	1 ～ 99 min		ノズル面をメンテナンス洗浄液で浸し、ノズル抜けやh飛行曲がりなどの復旧を行います。☞「キャップゴムの清掃」（P. 90）
ポンプチューブ洗浄	-	-	インク排出路の洗浄を行います。☞「インク排出路の洗浄」（P. 91）
保管洗浄	1 ～ 99 min		本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。☞「長期間使用しない場合」（P. 93）
ワイパ ー 交換	-	-	布ワイパーを交換するときに使用します。布ワイパー交換をすると、本機で管理している布ワイパーの使用済み長さが初期化されます。☞「布ワイパーの交換」（P. 98）
キャップ交換	-	-	キャップを交換するときに使用します。キャップを交換すると、本機で管理しているキャップ使用期間が初期化されます。☞「布ワイパーの交換」（P. 98）
ノズルリカバリ	-	-	復旧しないノズルがある場合、他のノズルで補完してプリントする機能です。
プリント	-	-	パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルを確認します。
登録	-	-	“ 作図” で確認した不良ノズルを登録します。
リセット	-	-	登録した不良ノズルをリセットします。
テストプリント	ON/OFF	OFF	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
ノズルチェック	-	-	☞「ノズルチェックとは」（P. 76）
印刷中チェック	ON / OFF	OFF	プリントが開始される前に、自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。

機能名称	設定値	初期値	概要
距離	0.1 ~ 100.0 m	30.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~1,000 ファイル	30ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
プリント継続	停止 / 継続	停止	"ノズル詰まり"と判定された場合、プリントを継続するか停止するかを選択します。
復旧動作	OFF / 1 ~100	10	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	ソフト	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	0 ~ 3 回	0	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリーを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 75）
判定条件	OFF / 1 ~ 64ノズル	1	”ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり16ノズルまで設定することができます。連続プリント実行中に ”ノズル詰まり”と判定された場合、次のプリントは開始されません。
オートメンテナンス	-	-	各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。
リフレッシュ	4h	-	リフレッシュ動作の間隔を設定します。
クリーニング間隔	24h	-	ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。
タイプ	ノーマル/ソフト/ハード	ソフト	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
プリント中メンテ	-	-	プリントの途中に自動実行するメンテナンスを設定します。
ホワイトメンテナンス	-	-	インク経路内のインクの沈降をメンテナンスします。 • ホワイトインクに色ムラが発生した場合に実行してください。
廃インクタンク	-	-	廃インクタンクの使用カウントをリセットまたは補正します。 ☞「廃インクタンクのメンテナンス」（P. 102）
空気抜き	-	-	インク経路内に混入したエアーを排出します。 • ホワイトインクが大量にノズル詰まり（ドカ抜け）している場合に実行してください。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。

- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり10個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。

- 縦280mm、幅300mm以上のメディアをセットしてください。これより小さいサイズのメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

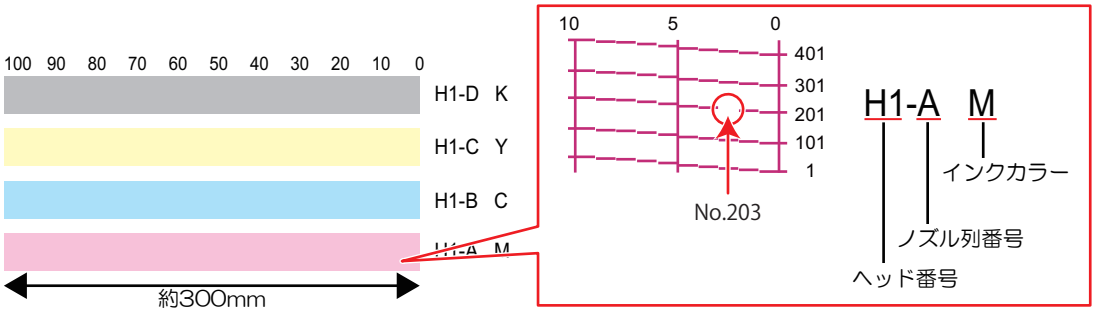
1 メディアをセットする。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

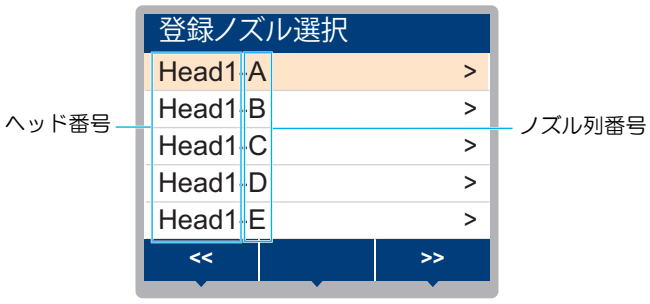
- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ノズルリカバリーパターンをプリントします。
- プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

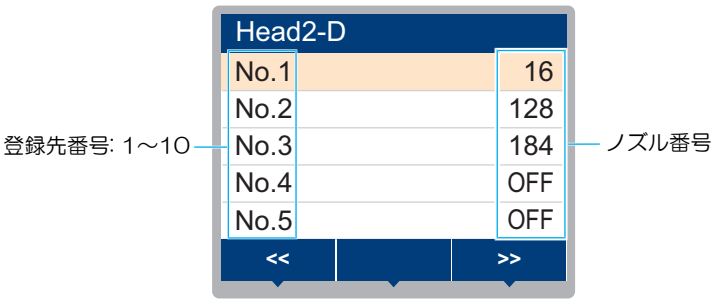


4 ノズルリカバリーをしたい”ヘッド番号-ノズル列番号”を選択して、[ENTER]キーを押す。



5 ノズルリカバリーをしたい”ノズル番号”を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。



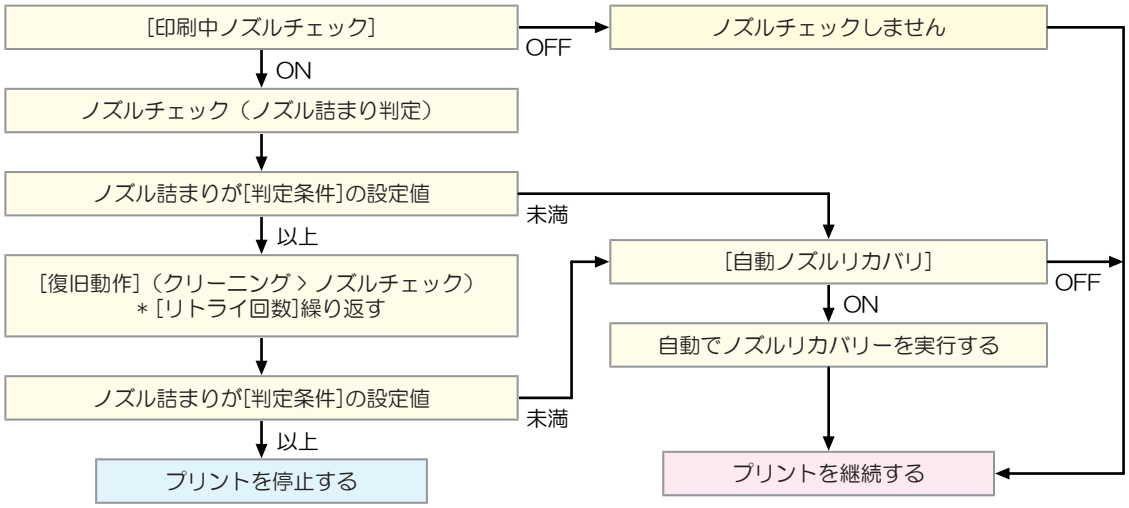
6 **登録が終了したあとに、[ENTER]キーを押す。**



・ [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。テストプリントをする

ノズルチェックとは

プリントが開始される前に、ノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



3.7 環境設定メニュー

時刻や言語、ネットワークの設定など、本機を使用するための基本設定を行います。

● メニュー 一覧

機能名称		設定値	初期値	概要
LANGUAGE		English / 日本語 / 中文 / Turkce / Português / Español / Italiano / Korean	English	表示言語を設定します。
時刻設定		+4h～-20h	0	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） • -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
キーブザー		ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。 • “OFF”に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
印刷終了ブザー		OFF//パターン1/パターン2	OFF	印刷終了時のブザー音を設定できます。
単位表示設定		-	-	表示単位を設定します。
	温度	℃/ °F	℃	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
	長さ	mm/inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。 • “inch”に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。
ネットワーク ☞「ネットワークの設定」（P. 79）		-	-	ネットワークの設定をします。
	IPアドレス確認	-	-	現在、本機が使用中のIPアドレスが表示されます。
	MAC アドレス確認	-	-	現在、本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
	DHCP	ON / OFF	OFF	オンの場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスを使用します。
	AutoIP	ON / OFF	OFF	オンの場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスを決定します。ただし、DHCPが“ON”の場合はDHCPを優先します。
リモートコントロール		-	-	リモートコントロール機能をご利用になる場合は、アプリケーション（MRA：Mimaki Remote Access）が必要になります。MRAは、コンピューターやスマートフォンにインストールして、本機から離れた場所（同一セグメントのネットワーク内）でも、本機の情報をみることができたり、パネル操作を可能にするリモートアクセスツールです。
	設定	有効 / 無効	有効	リモートコントロールの有効/無効を設定します。
	PINコード	0000 ~ 9999	0000	MRAと同じPINコードを入力します。PINコードは、本機とMRA間の認証に使用します。

機能名称		設定値	初期値	概要
	キーライフタイム	5 ~ 120min	30	一定時間MRAを操作しなかったときに、本機とMRAの接続を解除する時間を設定します。
オプション治具セット		-	-	オプション治具の認識を行います。
受入/ 回収位置設定		-	-	「MDL コマンド」を使用してプリンタを制御する場合にワーク受入、回収を行う際のテーブル位置を設定します。
	受入　ステージ	手前/奥	手前	MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを受入れる際のテーブルの前後位置を設定します。
	受入　高さ	最下点/ 最上点/ 印刷時		MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを受入れる際のテーブルの高さを設定します。
	回収　ステージ	手前/奥手前	手前	MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを回収する際のテーブルの前後の位置を設定します。
	回収　高さ	最下点/ 最上点/ 印刷時		MDL コマンドを使用してプリンタを制御する場合に、ワークを回収する際のテーブルの高さを設定します。
マシンリセット		-	-	設定した内容を初期化します。

ネットワークの設定

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。

Network Configuratorは、ミマキエンジニアリングダウンロードページ（https://japan.mimaki.com/download/）より“ドライバ/ユーティリティ”チェックボックスにチェックを入れてダウンロードしてください。

1 **ローカルモードで[FUNC1] (MENU) を押す。**

2 **[FUNC3] (>>) を押す。**

3 **▲▼を押して“マシン設定”を選択する。**

4 **[ENTER]キーを押す。**

5 **▲▼を押して“ネットワーク”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

6 **▲▼を押して“IPアドレス確認”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- 現在、本機で使用中のIPアドレスが表示されます。
  ネットワークに接続後、IPアドレスが確定するまで時間がかかります。IPアドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。
- 確認が終わったら[ENTER]キーを押してください。

7 **▲▼を押して“MACアドレス確認”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- 現在、本機で使用中のMACアドレスが表示されます。
- 確認が終わったら[ENTER]キーを押してください。

8 **▲▼を押して“DHCP”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

9 **▲▼を押して設定値を選択する。**

- 設定値 : ON / OFF
- “ON”の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスを使用します。

10 **[ENTER]キーを押す。**

11 **▲▼を押して“AutoIP”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

12 **▲▼を押して設定値を選択する。**

- 設定値 : ON / OFF
- “ON”の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスを決定します。ただし、DHCPが“ON”の場合はDHCPを優先します。

13 **[ENTER]キーを押す。**

14 **▲▼を押して“IPアドレス”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

15 **▲▼を押してIPアドレスを入力する。**

- DHCP、AutoIPが両方“OFF”の場合、IPアドレスの設定ができます。それ以外の場合、手順16へ進みます。

16 **[ENTER]キーを押す。**

17 **終了するとき、[END/POWER]キーを数回押す。**

18 **電源をオフにし、再度電源をオンにする。**

- 本機の電源をオフ／オンするとネットワークの設定内容が反映されます。

受入/ 回収位置の設定 (MDL コマンド)

「MDL コマンド」を使用してプリンタを制御する場合にワーク受入、回収を行う際のテーブル位置を設定します。

重要! • 本メニューの設定は、「MDL コマンド」を使用してプリンタを制御する場合のみ有効です。

「MDL コマンド」とは

- ユーザーの生産システムや周辺機器を利用して、弊社のプリンタの制御を可能にするためのコマンドです。
  ワークをセットするテーブルの位置や高さの制御、プリント開始のようなプリンタの動作の制御などが可能になります。
  また、プリンタのインク残量やエラー情報等も取得できます。「MDL コマンド」については、弊社から提供する技術情報（SDK）を使用してソフトウェアを開発していただくことで、お客様に最適なシステムの構築が可能になります。

『MDL コマンド』の運用に必要な情報を「技術情報（SDK）」として下記専用サイトで配布しています。
https://japan.mimaki.com/download/sdk/SDK のダウンロードにはユーザー登録（無料）が必要です。

3.8 マシンステータスメニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー一覧

機能名称		概要
使用状況	ワイパー残量	布ワイパーの残量が表示されます。 • 表示中に[FUNC2]キーを押すと、布ワイパーの残量を初期化することができます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 • 表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長さが表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 • 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
メンテナンス履歴	メンテナンス	各メンテナンス機能の実施履歴が表示されます（最大10件）。 • クリーニングP. ××、洗浄ワイプ P. ××、ポンプチューブ洗浄P. ××、ノズル洗浄 P. ××、循環
	ワイパー交換	布ワイパーの交換履歴が表示されます（最大5件）。☞「布ワイパーの交換」（P. 98） • スロット1 - 8
	インク交換	各インクスロットのインクパックを交換履歴が表示されます（最大5件）
	キャップ交換	キャップの交換履歴が表示されます（最大5件）。
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

第 4 章　メンテナンス



この章では...

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

メンテナンスに関するご注意 84
メンテナンスの方法 85
- メンテナンス項目とタイミング 85
- インクのメンテナンス 86
- ヘッド周辺のメンテナンス 87
- 布ワイパー周辺の清掃 88
- ミストフィルターの清掃 89
- キャップゴムの清掃 90
- インク排出路の洗浄 91
- テーブルの清掃 93
- 外装の清掃 93
- 長期間使用しない場合 93
- NCUの清掃 95
- DAS（自動補正機能）センサーの清掃 96

消耗品の交換 98
- 布ワイパーの交換 98
- ミストフィルターの交換 101
- 廃インクタンクのメンテナンス 102
- キャップの交換 104
- 脱臭機フィルターの交換 106

4.1 メンテナンスに関するご注意



- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警 告



- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注 意



- UV-LEDユニットは非常に高温になります。LEDが消灯して十分温度が下がるまで、手を触れないように注意してください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

注 記



- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
定期的に	インクを振ってください。☞「インクのメンテナンス」（P. 86）
1週間の作業が始まる前	ホワイトインクのメンテナンスをしてください。☞「ホワイトインクのメンテナンス」（P. 86）
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 90）
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「ヘッド周辺のメンテナンス」（P. 87）
	UV-LEDユニットの底面を清掃してください。☞「ヘッド周辺のメンテナンス」（P. 87）
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞「廃インク確認メッセージ」（P. 102）
1か月に1度	ワイパー周辺を清掃してください。☞「布ワイパー周辺の清掃」（P. 88）
	NCUを清掃してください。
	インク排出の経路を清掃してください。☞「インク排出路の洗浄」（P. 91）
	テーブルを清掃してください。☞「テーブルの清掃」（P. 93）
	カバー（外装）を清掃してください。☞「外装の清掃」（P. 93）
	ミストフィルターを清掃してください。 紙タオルなどで押さえて、インクを吸い取ってください。☞「ミストフィルターの清掃」（P. 89）
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しない場合」（P. 93）

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。



- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

UVインク：1か月に1 回程度。

ホワイトインク：1日に1 回程度。

1 インクボトルを20回以上ゆっくりと左右に振る。

- インクボトルのフタをしっかりと締めて、推奨の不織布でインクボトルのフタを押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- ゆっくりと振ってください。強く振るとインクが漏れたり、インクの中に空気が入り込んでノズル詰まりになったりするおそれがあります。
- 使いかけのインクボトルの場合は、インクボトルが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

ホワイトインクのメンテナンス

ホワイトインクに含まれている成分が、他のインクに比べて沈降しやすい性質があります。インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。1週間に一回、本機をご使用になられる前に、以下の内容にしたがってメンテナンスをしてください。

1 ホワイトインクのインクボトルを振る。

- 「インクのメンテナンス」（P. 86）

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ホワイトメンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

4 [ENTER]キーを押す。

- 自動で排出/充填/クリーニングを実行します。
- 経過時間が表示されます。

ヘッド周辺のメンテナンス

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダー下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、清掃棒などでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	
UJ 清掃棒（SPC-0386）	手袋
保護メガネ	メンテナンス用洗浄液

清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

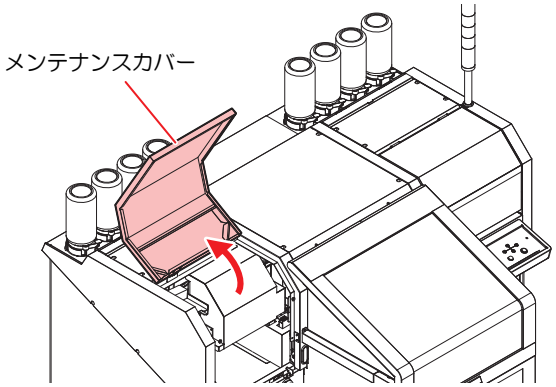
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

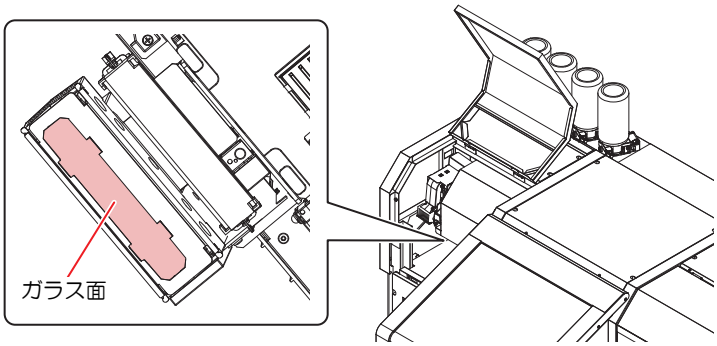
3 **メンテナンスカバーを開ける。**



4 **UV-LEDライトのガラス面を清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。

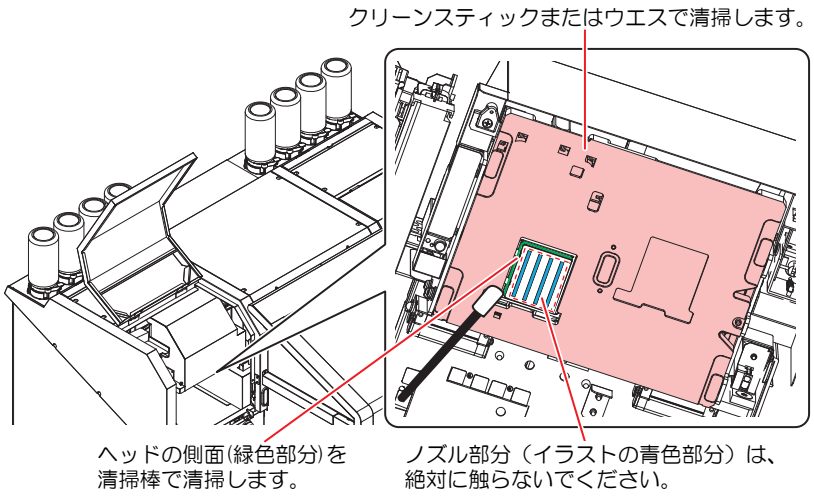
ガラスを強くこすりすぎないでください。破損する恐れがあります。



5 **ヘッドの側面などを清掃する。**

- ヘッドの側面などに付着したインクを、メンテナンス用洗浄液を含ませた清掃棒で拭き取ります。

- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。



6 **清掃が終了したら、[ENTER]キーを押す。**

7 **メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。**

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

布ワイパー周辺の清掃

汚れたまま使い続けると、ワイパー周辺の固まったインクや付着したホコリがヘッドノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

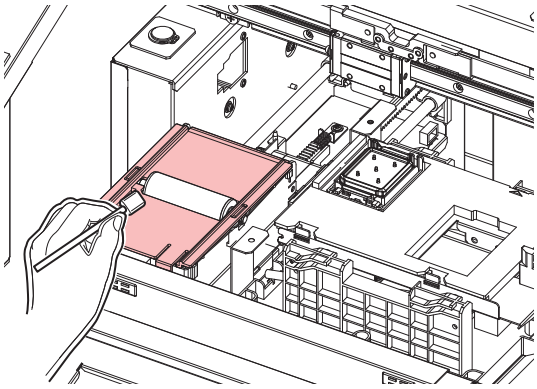
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [ステーション左側]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **右側のメンテナンスカバーを開く。**

4 ワイパーユニットのふたを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



重要! • 布ワイパーにメンテナンス液が付着しないように注意してください。

ミストフィルターの清掃

1 ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

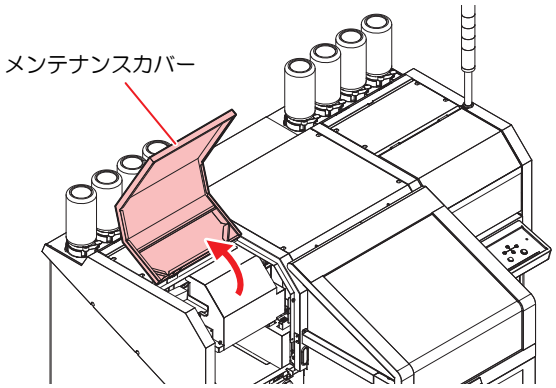
3 [ENTER]キーを押す。

- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 [ENTER]キーを押す。

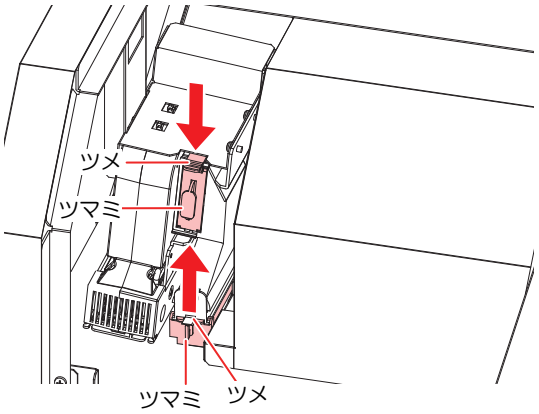
- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける。



6 ミストフィルターを取り出す。

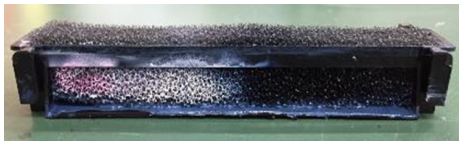
- ミストフィルターは 2ヶ所にあります。
- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて取り出します。



7 フィルターを清掃する。

- フィルターを取り出し、ペーパータオルなどで押さえて汚れを落とします。
- フィルターケースに付着した汚れを拭き取ります。

重要! フィルターについたインクが液状化するなど、汚れがひどい場合は、フィルター (SPC-0819) を交換してください。☞「ミストフィルターの交換」（P. 101）



---

8 ミストフィルターを元の位置に戻す。

9 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、ローカルモードに戻ります。

キャップゴムの清掃

1 ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ENTER]キーを押す。

- “ステーションメンテ”が選択されます。

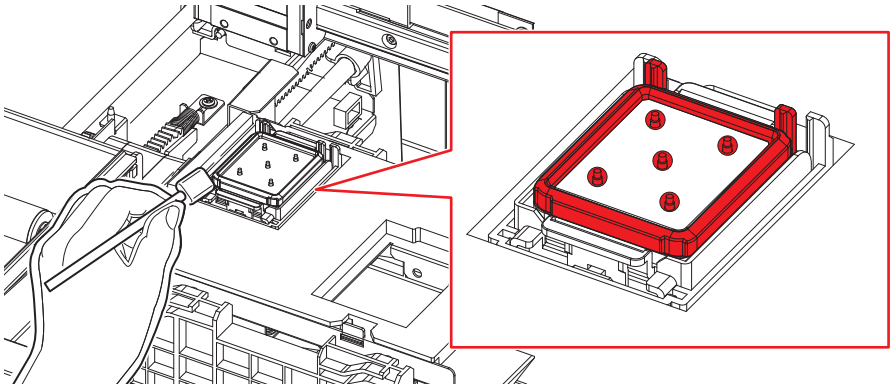
4 ▼を押して、[ENTER]キーを押す。

- “ノズル洗浄”が選択され、キャリッジが移動します。

5 メンテナンスカバーを開ける。

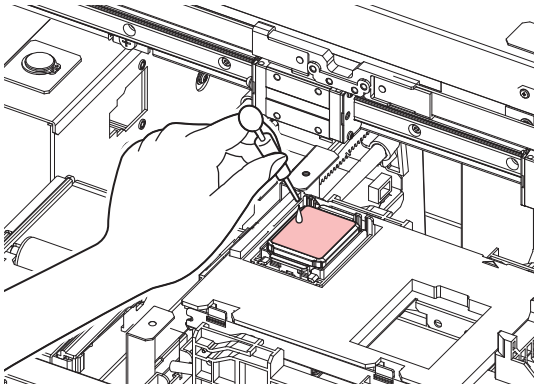
6 **キャップゴムを清掃し、[ENTER]キーを押す。**

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ）の部分を清掃します。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。



7 **メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。**

- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



8 **メンテナンスカバーを閉め、[ENTER]キーを押す。**

9 **▲▼を押して洗浄液の放置時間を設定し、[ENTER]キーを押す。**

- 設定値 : 1 ～ 99 分（1 分単位）
- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 設定した時間が経過するまで、ディスプレイには“しばらくお待ちください” が表示されます。

重要! ノズルリカバリー(ノズルリカバリー機能)やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に(1週間に1回程度)インク排出路の洗浄をしてください。

1 **ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。**

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

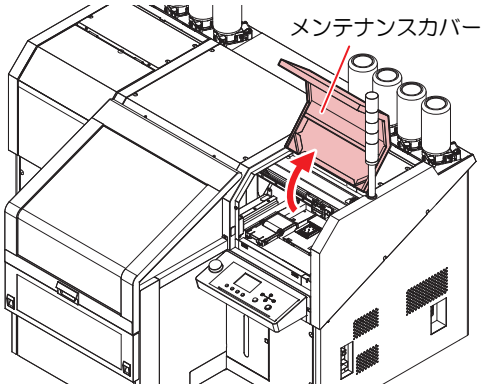
3 [ENTER]キーを押す。

- “ステーションメンテ”が選択されます。

4 ▼を2回押して、[ENTER]キーを押す。

- “排路洗浄”が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返しおこないます。

5 右側のメンテナンスカバーを開ける。

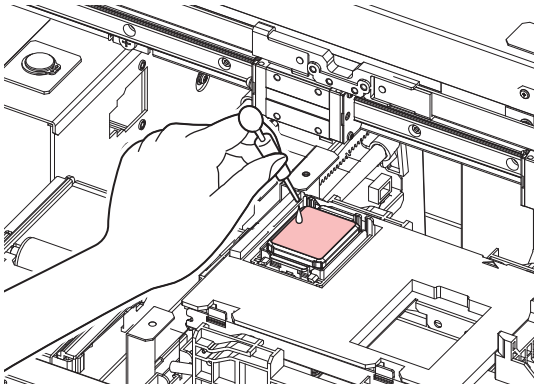


6 [ENTER]キーを押す。

- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

7 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。

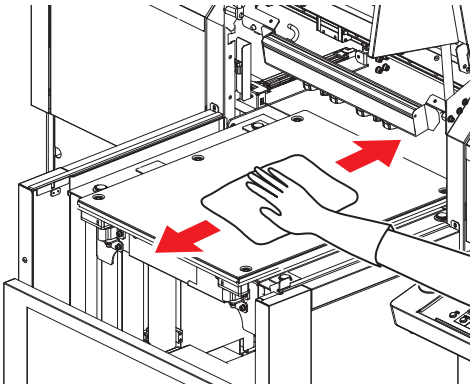
- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



8 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

テーブルの清掃

テーブルは、メディアをカットしたときの糸や紙粉などで汚れやすくなります。
汚れが目立つときは、柔らかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。

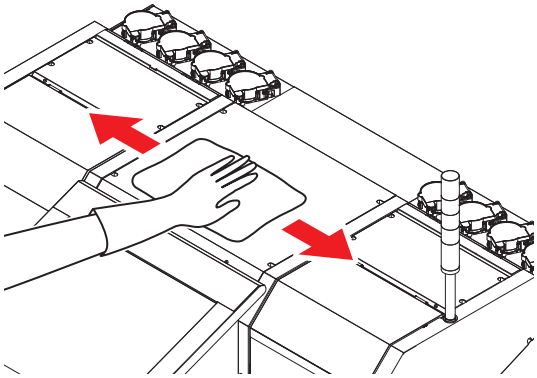


重要! テーブル周囲の溝や、治具固定用のネジ穴などは特に汚れがたまりやすいため、入念に清掃をしてください。

インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

外装の清掃

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。



長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本機を保管してください。

重要! 主電源は、常時オンでお使いください。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください
[ニアエンド]、[インクエンド]は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。

ワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて☞「廃インクタンクのメンテナンス」（P. 102）を参照して操作をしてください。

1 **ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。**

2 **▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **[ENTER]キーを押す。**

- “ステーションメンテ”が選択されます。

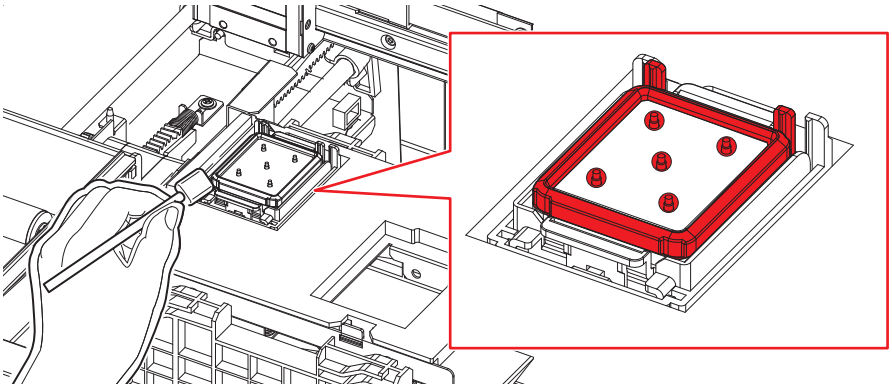
4 **▼を3回押して、[ENTER]キーを押す。**

- “保管洗浄”が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。

重要！ キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには“ 終了” が表示されます。手順5の作業が完了してから[ENTER] キーを押してください。クリーニングが終了する前に[ENTER] キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

5 **キャップゴムを清掃する。**

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ）の部分を清掃します。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。

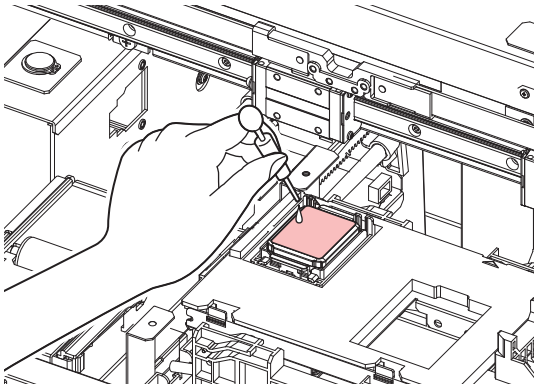


6 **[ENTER]キーを押す。**

重要！ 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには[シュウリョウ(ツギヘ)　:ENT]が表示されます。手順8の作業が完了しメンテナンスカバーを閉じてから[ENTER]キーを押してください。洗浄液を満たす前に[ENTER]キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

7 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。

- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



8 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

9 ▲▼を押して洗浄液の放置時間を設定する。

- 設定値 :1～99分（1分単位）

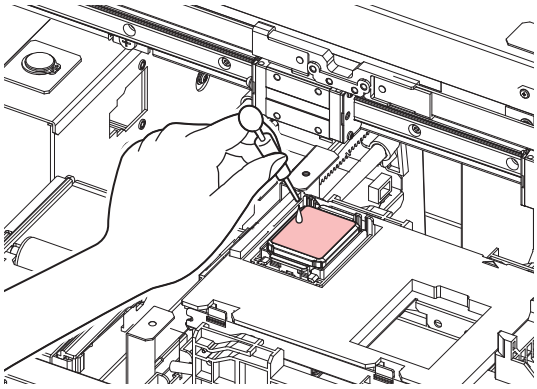
10 [ENTER]キーを押す。

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

11 メンテナンスカバーを開ける。

12 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす。

- スポイトにメンテナンス洗浄液を取り、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。



13 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、手順2の表示に戻ります。

NCUの清掃

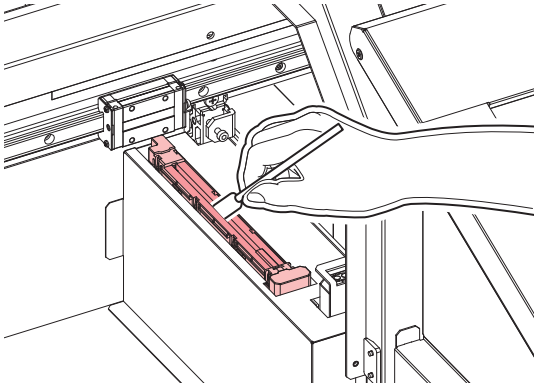
NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

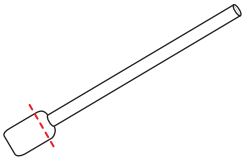
1 **左側のメンテナンスカバーを開く。**

2 **NCUを清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



DAS（自動補正機能）センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（03_自動補正）が実行できないおそれがあります。

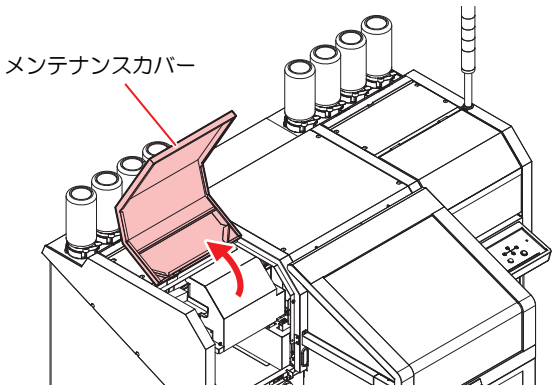
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが、本機の左端まで移動します。

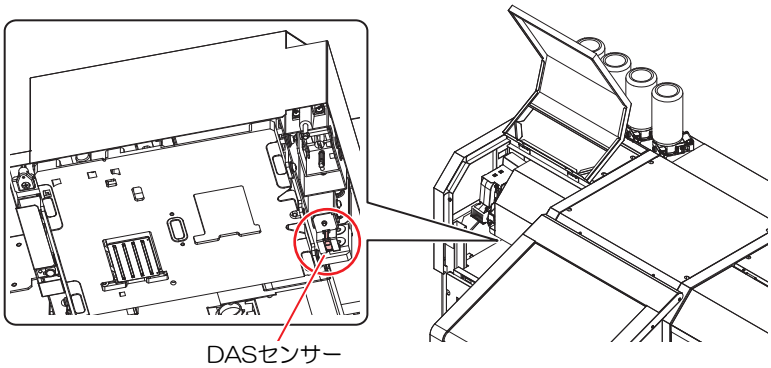
3 **メンテナンスカバーを開ける。**



4 **DASセンサーを清掃する。**

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。

- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。



5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

4.3 消耗品の交換

布ワイパーの交換

布ワイパーがなくなりましたら、新しい布ワイパーに交換してください。

SPC-0919の布ワイパーについて
- 布ワイパーに注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。
- 布ワイパーを廃棄するときは、**必ず袋に入れて密閉してください**。産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。
- 布ワイパーを取り扱うときは、十分に換気して溶剤成分を吸い込まないように注意してください。

- **SPC-0919の布ワイパー**を取り扱うときは、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。布ワイパーにしみ込んでいる液体（溶剤）が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

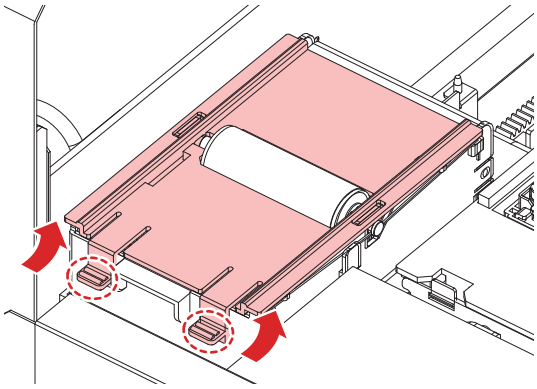
1 ディスプレイに"ワイパーエンド"が表示される。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- メンテナンスメニューが表示されます。

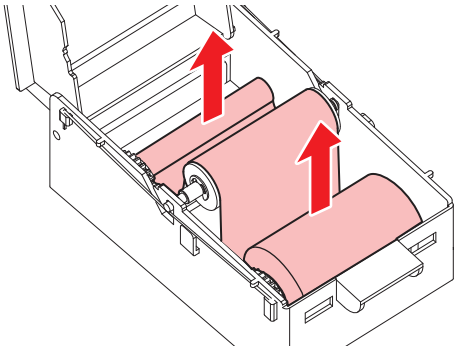
3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。
- キキャリッジがテーブル上に移動し、布ワイパーカセットが前方に移動します。

4 メンテナンスカバーRを開く。

5 布ワイパーのふたを開く。
- 手前のツメを押し上げて開きます。



6 軸ごと布ワイパーを外す。

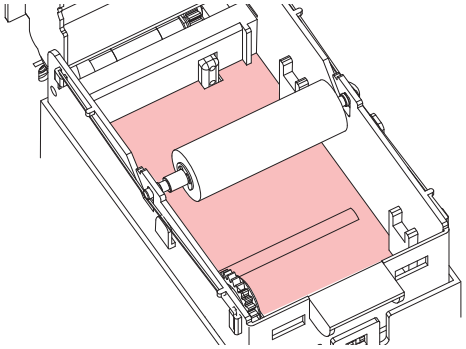


7 軸から布ワイパーを外す。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

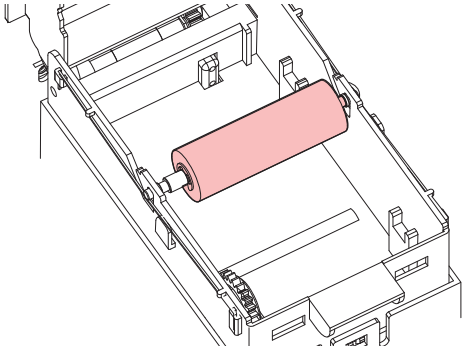
8 ワイパーユニット底面を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



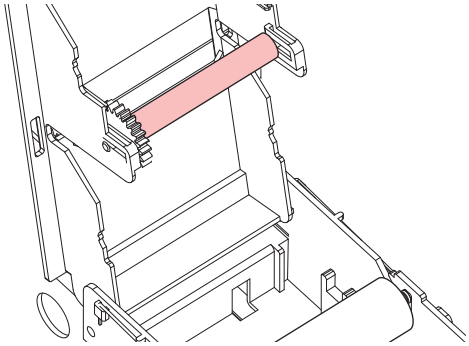
9 拭き取りローラーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



10 ピンチローラーを清掃する。

- 柔らかい布などで、付着したホコリなどを軽く拭き取ります。



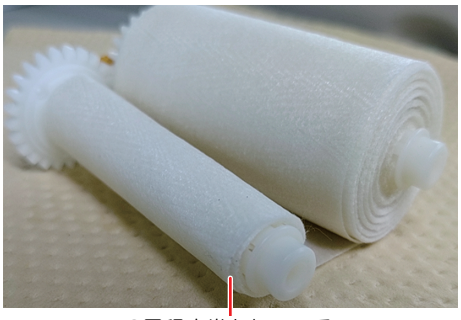
- 強くこすらないでください。スポンジが劣化するおそれがあります。

11 布ワイパーをセットする。

(1) 袋から布ワイパーを取り出す。

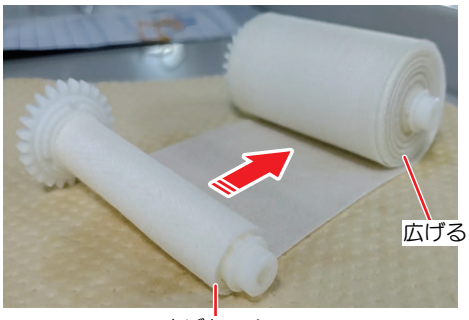
(2) 巻かれている布の多い方を広げる。

［袋から出した状態］



3周程度巻かれている

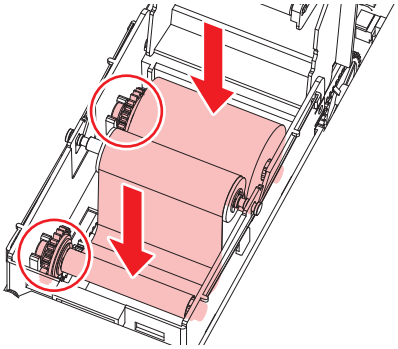
［ワイパーユニットにセットする状態］



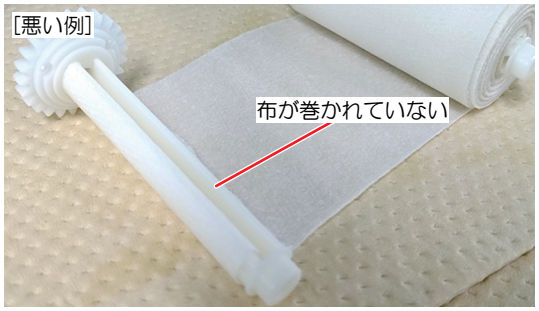
広げない！

(3) 布ワイパーをセットする。

- 布ワイパーのギア部を左に向けてセットします。



重要！
- 軸に布が巻かれていない場合は、3周程度布を巻いてからセットしてください。軸に布が巻かれていない状態のままセットすると、ワイパーユニットから布が飛び出る原因になります。



12 布ワイパーのふたとメンテナンスカバーを閉じる。

13 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。
- ワイパーの残量が初期化されます。

ミストフィルターの交換

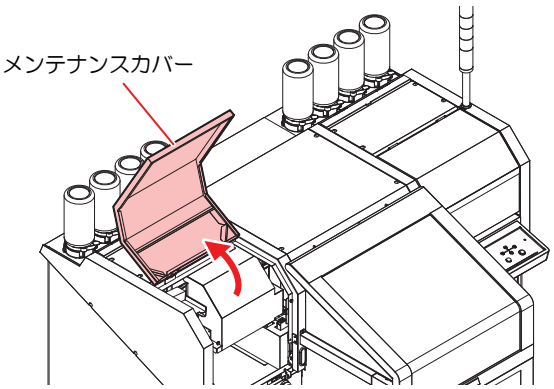
1 ローカルモードで[FUNC1](MENU) キーを押す。

2 ▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。
- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ENTER]キーを押す。
- “ステーションメンテ”が選択されます。

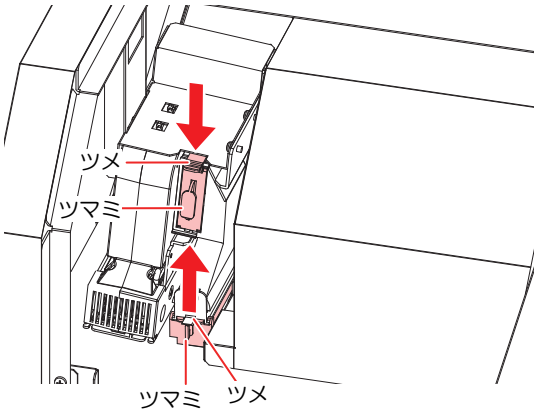
4 [ENTER]キーを押す。
- “キャリッジアウト”が選択され、キャリッジが移動します。

5 左側のメンテナンスカバーを開ける。



6 ミストフィルターを取り出す。

- ミストフィルターは2ヶ所にあります。
- ツメを矢印の方向に押しながら、ツマミを手前に引いて取り出します。



7 新しいフィルター(SPC-0819)に交換する。

8 ミストフィルターを差し込む。

9 メンテナンスカバーを閉じ、[ENTER]キーを押す。

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

廃インクタンクのメンテナンス

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機の右下にある廃インクタンクにたまります。本機では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージが表示されます。廃インクタンク交換の目安にしてください。

2.0L廃インクタンク(SPA-0173)の80%(1.6L)でメッセージが表示されます。

廃インク確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ“廃インクタンク確認”が表示される。

2 ☞「廃インクの廃棄手順」（P. 102）の手順に従い、廃インクタンクを空にする。

- 実際の量と誤差がある場合、▲▼を押して補正します。

重要! 廃インクを廃棄せずに本機を使用し続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2.0Lタンクの80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合も前項と同じ操作です。

1 ☞「廃インクの廃棄手順」（P. 102）の手順を実行し、廃インクタンクを空にする。

廃インクの廃棄手順

以下の手順で廃インクを廃棄してください。

1 **ローカルモードで[FUNC1]キー(MENU) を押す。**

2 **▲▼を押して“メンテナンス”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 **[ENTER]キーを押す。**

- “ステーションメンテ”が選択されます。

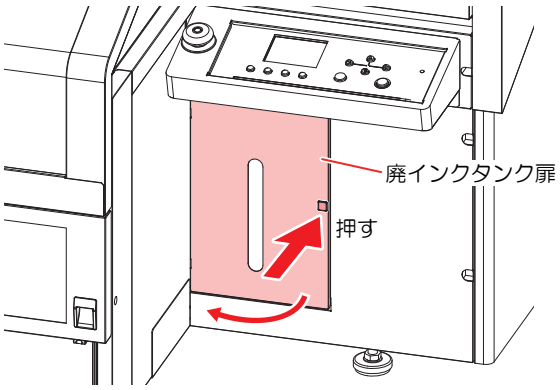
4 **▲▼を押して“廃インクタンク”を選択し、[ENTER]キーを押す。**

- “廃インクタンク”が選択されます。

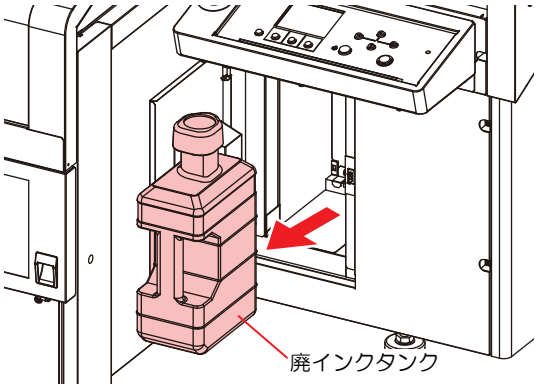
5 **廃インクタンクを取り外す。**

(1) 廃インクタンクボックスの突起を押す。

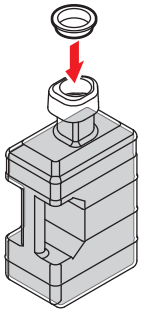
- 磁石が外れ、扉が開きます。



(2) 廃インクタンクを持ち、手前に引いて取り出す。



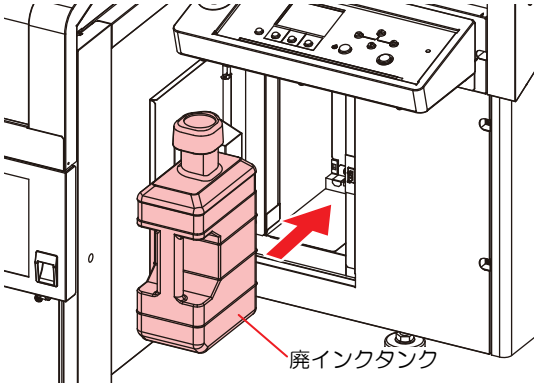
取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。



6 **廃インクタンクを空にする。**

- 廃インクを別のポリエチレンタンクに移すか、新しい廃インクタンク（SPA-0173）を用意してください。

7 **廃インクタンクの取っ手を持ち、廃インクタンクボックスの中にセットする。**



廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

8 **[ENTER]キーを押す。**

- 本機で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。

- キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

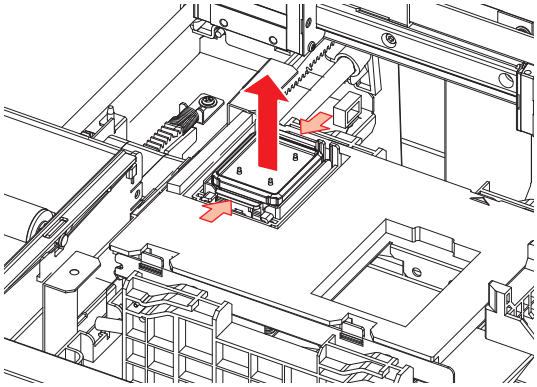
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジがテーブル上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

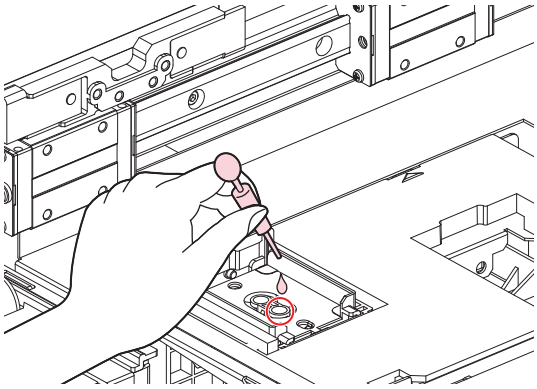
4 キャップを外す。

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



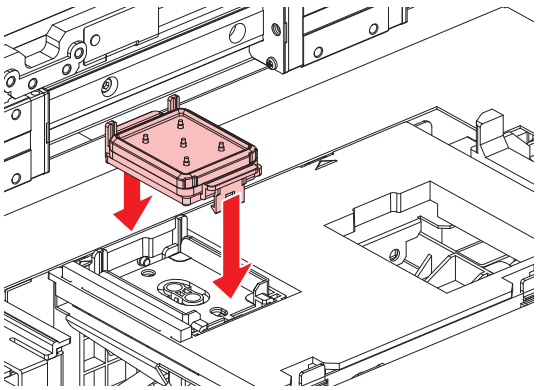
5 メンテナンス液を塗布する。

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。



6 新しいキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



脱臭機フィルターの交換



- 脱臭機は、UJF200-3042 / 6042のオプションです。（OPT-J0515）

オプションの脱臭機を使用している場合に脱臭機フィルターの交換が必要です。
脱臭機フィルターは消耗品です。以下のフィルターを交換してください。交換の目安は2ヶ月です。

- 脱臭機フィルタA (SPC-0896): プレフィルター、準HEPAフィルター
- 脱臭機フィルタB (SPC-0897): 活性炭フィルター

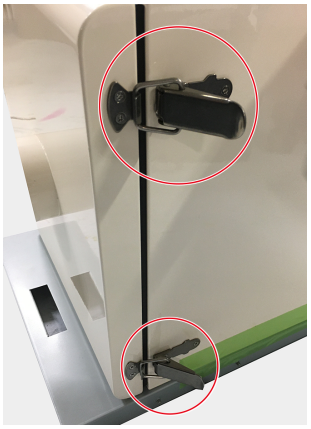


1	プレフィルター	-
2	準HEPAフィルター	-
3	活性炭フィルター	活性炭を交換するためにプラスドライバーを使用します



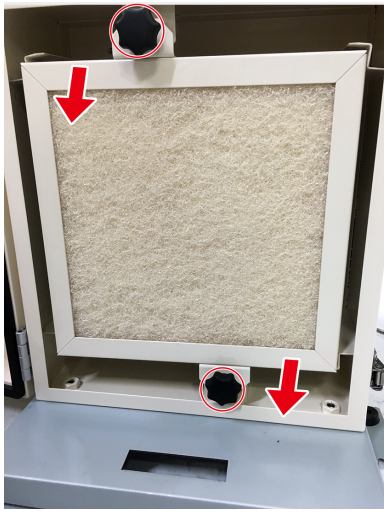
- 作業時は、耐切創手袋を着用してください。指や手に怪我をするおそれがあります。

1 パチン錠を外して脱臭機の扉を開ける。

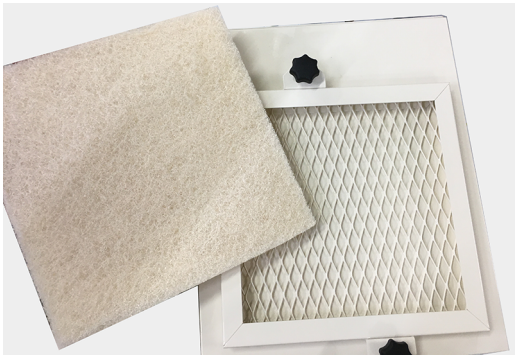


2 プレフィルターを取り外す。

- プレフィルターの上下のノブ(x2)を回して外し、プレフィルターを手前に引き出して取り外します。

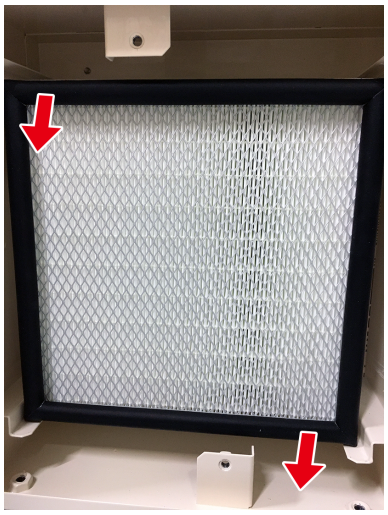


3 プレフィルターのフィルター(ろ材)を交換する。



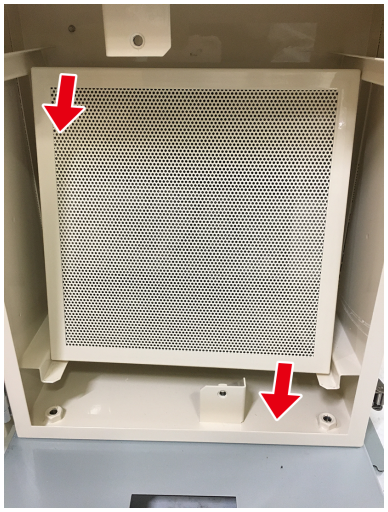
4 準HEPAフィルターを取り出す。

- 準HEPAフィルターを手前に引き出して取り外します。
- 準HEPAフィルターは準HEPAフィルター一式を新しいものに交換してください。



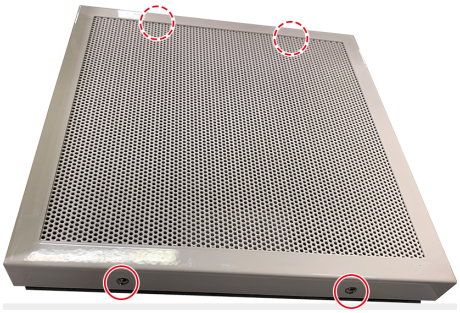
5 活性炭フィルターを取り出す。

- 活性炭フィルターを手前に引き出して取り外します。



6 活性炭とシートを交換する。

(1) ネジ(x4)を取り外す。



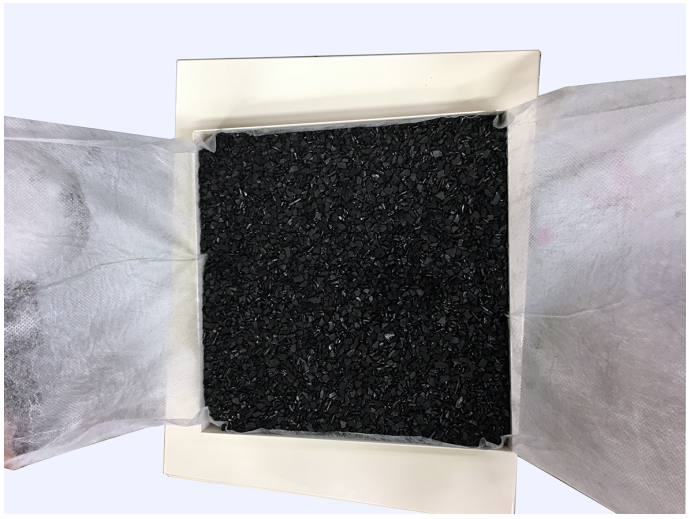
(2) 活性炭とシートを廃棄する。

- 活性炭とシートは地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

(3) 下面カバーに新しいシートを敷く。

(4) シートの上に新しい活性炭を入れ、平らにならす。

- 新しい活性炭は脱臭の効果を保つために真空パックしてあります。使用する直前に封を開けてください。



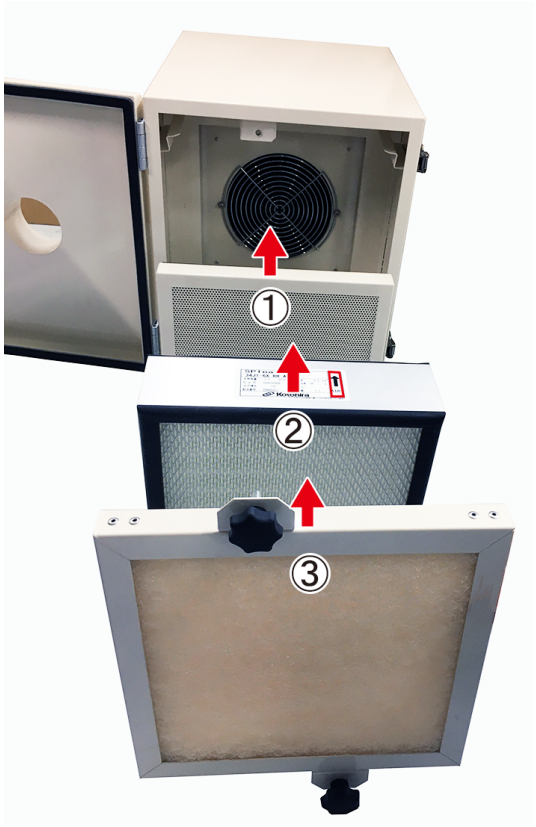
(5) 活性炭をシートで覆う。



(6) 上面カバーをネジ(x4)で取り付ける。

7 **1.活性炭フィルター、2.準HEPAフィルター、3.プレフィルターの順番で、ガイドに合わせて脱臭機に取り付ける。**

- フィルターの順番、向きを間違えないように注意してください。
- 準HEPAフィルターは上面シールの矢印方向が奥側になるようにして取り付けてください。



8 プレフィルターの上下のノブ(x2)を回して固定する。

9 扉を閉める。

10 パチン錠を留める。

第 5 章　困ったときは



この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

故障かなと思う前に 112
　画質不良が発生したときは 112
　ノズル詰まりを解消したいとき 112
メッセージを表示するトラブル 113
　ワーニングメッセージ 113
　インクエラー 114
　エラーメッセージ 115

5.1 故障かなと思う前に

画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。
対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。

現象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する(ヘッド移動方向)。	1. ヘッドクリーニングを行ってください。 2. ステーション内部のメンテナンスをしてください。 3. 「フィード補正」機能を実行してください。(☞「フィード補正の設定」（P. 71）) 4. ヘッドノズルの洗浄を行ってください。
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる。	1. 「フィード補正」機能を実行してください。(☞「フィード補正の設定」（P. 71）)
プリント中にインク滴が落ちる。	1. ワイパーを清掃してください。 2. インクキャップのクリーニングをしてください。 3. ヘッドの周辺を清掃してください。 4. ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。 5. オートクリーニングの動作間隔を、短く設定してください。(オートクリーニングの設定) 6. オーバーフローメンテを実行してください。

ノズル詰まりを解消したいとき

ヘッドクリーニングをするの操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の項目を確認してください。

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 90）の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- ☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 75）の操作をして、ノズルリカバリーをしてください。

5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
NCU インク吸収材交換	• インク吸収材の交換時期になった。	• NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 95） • エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU 感度調整エラー H	• センサー感度調整に失敗した。	
NCU 感度調整エラー L		
NCU接続異常	• NCUの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
インクエラーあり	• インクエラーが発生している。	• インクエラーの内容を確認してください。☞「インクエラー」（P. 114）
カバーを閉じてください スイッチを解除してください ※	• メンテナンスカバーが開いている。または非常停止スイッチが押されている。	• カバーを閉めてください。または非常停止スイッチを解除してください。
正面カバーオープン	• 正面カバーが開いている。	• 正面カバーを閉めてください。
プリントデータあり	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント一時中断	• プリントを一時停止している。	• リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/インクIC	• 使用できないインクICチップが使われている。	• 新しいインクとインクICチップに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
ワイパー動作不良	• ワイパーが正常に動作しない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
廃インクタンク交換	• 廃インクタンクのカウントが規定量（90%）を超えた。	オートメンテナンス機能が実行できません。以下を対処してください。 1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「廃インク確認メッセージ」（P. 102）

メッセージ	原因	対処方法
		2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクの廃棄手順」（P. 102）
廃インクタンク確認	• 廃インクタンクのカウントが規定量（80%）を超えた。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「廃インク確認メッセージ」（P. 102） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクの廃棄手順」（P. 102）
環境温度が高い **゜C	• 室内の温度が高い。	• 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。☞「設置上のご注意」（P. 15）
環境温度が低い **゜C	• 室内の温度が低い。	
ワイパーエンド	• 布ワイパーがなくなった。	• 新しい布ワイパーに交換してください。☞「布ワイパーの交換」（P. 98）
ワイパーニアエンド	• 布ワイパーが、残りわずかになっている。	• 新しい布ワイパーに交換してください。☞「布ワイパーの交換」（P. 98）

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 41）
インク ニアエンド	• インク残量が、残りわずかになっている。	• 間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞「インクニアエンドが表示されたとき」（P. 41）
インクIC無し	• インクICチップがない。	1. インクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 41） 2. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」（P. 41） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」（P. 41） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
インク カラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 41）

メッセージ	原因	対処方法
インク種類	• 充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	• 正しいインクタイプのインクICチップをセットしてください。「インクを交換する」（P. 41）
インク期限注意	• インクが期限切れになった。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。「インクエンドが表示されたとき」（P. 41）
	• インクが期限切れから1ヶ月経過した。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。「インクエンドが表示されたとき」（P. 41）
インク期限オーバー	• インクが期限切れから、2ヶ月経過した。	• 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。「インクエンドが表示されたとき」（P. 41）

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。「電源を切る」（P. 35）
108	HD THERMIS[1_]	• プリントヘッド温度制御に異常を検出した。	
108	HD CONNECT[1_]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
108	HD MEM EMP[1_]	• プリントヘッドに異常を検出した。	
10e	FROM CLEAR	• メイン基板に異常を検出した。	
10f	FROM WRITE		
115	PCB MAIN-F1		
15f	HEAD DRIVE HOT	• HDCE基板のCOMドライバが高温になっている。	
1d8	HEAD XHOT[12]	• ヘッド異常を検出した。	
122	CHECK：SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	
122	PRAM NONE		
123	PRAM DATA	• メイン基板に異常を検出した。	
124	PRAM ADDR		
127	POWER OFF		
128	HDC FIFO OVER	• プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
128	HDC FIFO UNDER		
129	バッテリ交換	• 内蔵時計の電池切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
12a	HDC SPEED	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
12d	PCB MAIN-F4	• メイン基板に異常を検出した。	
130	HD DATA SEQ	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
147	DS-IC BUSY	• インクIC制御に異常検出した。	
148	E-LOG SEQ	• ログの制御に異常を検出した。	
151	Main PCB V1R2	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
155	Main PCB V42-1		
15f	HEAD DRIVE HOT	• HDCE基板のCOMドライバーが高温になっている。	
171	NEW HEAD CONNECT	• 新しいプリントヘッドの接続を認識した。	
186	HDC OVERFLOW	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
186	HDC UNDERFLOW		
187	HDC SLEW RATE		
188	HDC MEMORY		
189	COM VOLT[12]	• HDCE基板 の電圧異常を検出した。	
18c	Main PCB V12	• メイン基板の電源に異常を検出した。	
18e	FLS NOT COMP	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
18f	OFSET START [1_]		
1b5	SLIDER CONNECT	• HDCE基板が検出できない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
1bf	PCB MAIN-F2	• メイン基板に異常を検出した。	
1e6	PRAMサイズ不足	• メモリーサイズが不足している。	
201	コマンドエラー	• プリント（RIP）データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。 2. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 36） 3. 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」（P. 36）
202	パラメーターエラー	• 受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
			4. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
206	プリントモードエラー	• プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。	• RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。
20A	ドライバーバージョン	• Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。	• 最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
303	PCB MAIN ET	• メイン基板に異常を検出した。	1. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
304	USB INIT ERR	• USBケーブルの接続に異常を検出した。	1. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 36） 2. 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」（P. 36） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
305	USB TIME OUT		
318	SDカード接続異常	• SDカードに異常を検出した。	1. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
401	モーターアラーム X	• Xモーターに過大な負荷がかかった。	1. メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「メディアをセットする」（P. 51） 2. 正面カバーを開けて、キャリッジ動作に障害があるものがないかどうかを確認してください。 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
402	モーターアラーム Y	• Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	• Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	• Yモーターの過電流エラーを検出した。	
406	ワイパー動作不良	• ワイパー原点が、検出できなかった。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
467	ZSTPOUT:12	• Z 軸の脱調を検出した。	
48b	Y MOTOR COM	• Yモーターの通信ができない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
48c	Y MTR I2C COM	• 起動時にYモーターの通信ができない。	
496	Y MOTOR DIR	• Yモーターの動作方向を指定できない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
4c9	ZMtrDrive HiTemp	• Zモータドライバが65度を超えた。	• 頻発する場合、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
509	HDC POSCNT	• 位置制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
50a	Y原点検出	• Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
50f	L-SCALE BLACK	• リニアスケールに異常を検出した。	
511	Z原点検出	• Z原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	
524	ワーク原点マーク	• 原点マークセンサカバーが取り付いたままとなっている。 • ワークに貼り付けた原点マークとセンサの位置が合っていない。ワークの表面と原点マークの反射が同じため、原点 マークを認識できない。ワーク表面の模様や凹凸がある。 (ワーク表面の模様や凹凸を原点マークと誤認することがあります。)原点マークが大きいまたは小さいため、原点マークが認識できない。原点マーク検出動作の際にワークが回転していない。原点マークセンサが汚れている。原点マーク検出時に、原点マークセンサに強い光が当たっている。	• 原点マーク検出を使用する場合は、原点マークセンサカバーを取り外してください。再度、原点マークとセンサの位置を合わせてください。別のテープ（アルミテープの場合は黒テープ、黒テー プの場合はアルミテープ）をお試しください。 それでも検出できない場合は、黒テープを一周貼り付けたあと、原点マークとしてアルミテープを使用ください。模様は、黒テープを一周貼り付けたあと、原点マークとしてアルミテープを使用ください。 段差は、表面に凹凸のない円周に原点マークをお貼 りください。原点マークを適切な大きさにしてください。ワークの回転の妨げになっている箇所がないかご確認ください。原点マークセンサを清掃してください。 清掃しても汚れが取れず、エラーが発生する場合は、 販売店または弊社営業所にご連絡ください。センサーに強い光を当てないように、照明の方向を 変える、日光が差し込む窓のカーテンを締めるなどを行い強い光がセンサに当たらないようにしてください。
525	イオナイザーイジョウ	• イオナイザーの内部回路が破損したか、異常放電が発生している。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
526	イオナイザー イオンレベル	• 電極針の汚れや摩耗によって、イオン発生量が低下している。	• イオナイザー取扱説明書を参照して、電極針を清掃してください。
527	イオナイザー コンディション	• 周囲の金属によってイオンが吸収されるなど、設置環境の不安定さから除電能力に影響が出ている。	• イオナイザーの近くに導体や別の除電器がある場合は、導体や除電器を遠ざけてください。
528	ポンプモーターセンサー	• ポンプセンサー検出に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
54c	吸着ファン異常	• 吸着ファンの異常を検出した。	
547	!ワーク高い	• 障害物を検知した。	• メディアの上に異物等がある場合、取り除いてください。 • ヘッドギャップ設定を大きくする、またはメディア厚み設定を大きくし、メディア搬送ベルトの高さを下げてください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
54d	HDCE冷却ファン異常	• HDCE冷却ファンが回転不良を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
54e	UV-LEDファン異常	• UV-LED冷却ファンが回転不良を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
559	ワイパーエンドセンサー異常	• ワイパー残量が残りわずかになっている。	• まもなくワイパー布ロールがなくなります。 • 新しい布ロールを用意してください。
55d	Kebab カバー/メディアセット	• KebabHS の本体カバーが開いている。または、遮光カバーがセットされていない。	• ワークをセットし、本体カバーを取り付けてください。 • 遮光カバーをセットしてください。*1 • スライドバネを再度押し込んでください。*1 • KebabHS 本体と、電源ユニットを接続するケーブルが差さっていることを確認してください。
56b	KebabHS UVファン異常	• KebabHS UV冷却FANの回転以上を検出した。	• 本体カバーを取り外し、数分間放置してください。 • 数分間放置しても表示が消えない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
56c	KebabHS エンコーダ異常	• KebabHS エンコーダが正しく読めていない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
602	インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 41）
604	廃インクタンク確認	• 廃インクタンクが、規定量に達した。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「廃インク確認メッセージ」（P. 102） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクの廃棄手順」（P. 102）
608	インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクを交換する」（P. 41） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
60a	インク使用量超過	• インク交換と一緒にインクICチップの交換を実施していないため、インクICチップの使用量が規定量を超えた。	• ワーニングが発生しているスロットのインクとインクIC チップを交換してください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
60c	インク種類	• インクICチップのインク種類が充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているスロットのインク種類を確認してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
629	インク期限注意	• インクが有効期限切れになった（期限切れから2ヶ月未満）。	• インクとインクIC チップを交換してください。（有効期限切れから2ヶ月までは使用可能です。）☞「インクを交換する」（P. 41）
62a	インク期限オーバー	• インクが有効期限切れになった（期限切れから2ヶ月以上経過）	• インクとインクIC チップを交換してください。☞「インクを交換する」（P. 41）
631	インクカラー	• インクICチップのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているスロットのインクカラーを確認してください。
637	INK LEAK _	• インク漏れセンサーがインク漏れを検知した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
650	NCU接続異常	• NCUの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
651	NCU交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
652	NCU 検出エラー（HW）	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 95）
653	NCU 検出エラー（マーク）		
654	NCU センター位置検出エラー	• 吐出位置の調整に失敗した。	
655	NCU 吐出位置検出エラー		
656	NCU SN調整エラー	• センサー感度調整に失敗した。	
657	NCU インク吸収材交換	• NCUのインク吸収材が満杯になった。	• NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
658	NCU センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 95） • エラーが解消されない場合、NCUの交換をお勧めします。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
65b	NCU感度調整エラー H	• センサー感度調整に失敗した。	
65c	NCU感度調整エラー L		
683	ワイパーニアエンド	• ワイパー残量が残りわずかになっている。	• 間もなく布ワイパーがなくなります。新しい布ワイパーを用意してください。
684	ワイパーエンド	• ワイパー残量がなくなった。	• 新しい布ワイパーに交換してください。☞「布ワイパーの交換」（P. 98）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
702	サーミスタ接続	• サーミスタの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
706	UVランプ　オンド　タカイ	• UV-LEDユニットが高温になった。	• 頻発する場合、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
707	ヘッドヒーター断線	• ヘッドヒータが断線した。(一定時間以上加熱しても温度が上がらない)	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
70b	DRV OVHT	• UV-DRV基板が高温になった。	
711	LED OVHT*	• UV-LED基板が高温になった。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
715	インクヒータ サーミスタ断線	• インクヒーターのサーミスタが正常に読めない。	
716	インクヒーター温度異常	• インクヒーターの温度異常を検出した。	
717	インクヒーター断線	• インクヒーターが断線した。(一定時間以上加熱しても温度が上がらない)	
71a	UV-DRV Fuse	• UV-DRV基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
71e	ヘッド温度異常	• ヘッド温度の異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
71f	ヘッドサーミスタ断線	• ヘッドのサーミスタが正常に読めない。	
753	インクヒーター温度異常(HW)	• インクヒーターの温度異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
754	インクヒーター温度異常	• インクヒーターの温度異常を一定時間検出した。	
755	ヘッド温度異常(HW)	• ヘッド温度の異常を検出した。	
756	ヘッド温度異常	• ヘッド温度の異常を一定時間検出した。	
75f	KBBHS UVランプ　オンド　タカイ	• KebabHSのUVユニットが高温になった。	• UVランプユニットの前後端にある冷却FANに異物が付着していないことを確認してください。
760	KBBHS UVドライブ オンド　タカイ	• KebabHS UVD32B基板基板が高温になった。	• 基板BOX手前側の冷却FANに異物が付着していないことを確認してください。
801	（C）OPCODE	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
802	（C）SWI		
803	（C）PFTCHABRT		
804	（C）DATAABRT		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
806	FW/SIO bit	• 基板間通信エラーを検出した。	
808	FW/STP-MTR**	• メイン基板に異常を検出した。	
80f	FW/SIO Vch	• 基板間通信エラーを検出した。	
811	FW/SIO read : ****	• 基板間通信エラーを検出した。	
81b	FW/STACK OV	• メイン基板に異常を検出した。	
828	PRG ERR L*****		
901	実行できません	• 何らかのエラーにより機能が実行できない。	• エラーの内容を確認してください。 – メディア未検出 – インクエラー – 廃インクタンクなど
902	未作図 データ アリ	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90f	プリント エリア不足	• プリント領域が不足している。	• メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b1a	PCB BaseIO	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b1b	BaseIO PCB Vpow-s	• Base IO基板の電源に異常を検出した。	
b1c	BaseIO PCB V24		
b1e	PCB BaseIO-F**	• BaseIO基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
b1f	PCB HDCE*	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b2f	PCB HDCE*-F*	• HDCE基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
b36	PCB INKIO	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b3f	BaseIO Unconform	• 基板が認識できなかった。	
b42	PCB UVD32B	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
b46	PCB SubIO	• 基板間通信エラーを検出した。	
b47	UVD32B PCB Uvpow	• UVD32B基板の電源に異常を検出した。	
b48	PCB HDCE	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b49	PCB HDCE-VHVFET[12]	• HDCE基板[ ]に表示されたヘッド電源のFETが破損している。	
b4a	PCB HDCE*-F*	• HDCE基板のヒューズ切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
b4b	HDCE* PCB V1R2	• HDCE基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b4c	HDCE* PCB V2R5		
b4d	HDCE* PCB V3R3		
b4e	PCB SubIO-F*	• SubIO基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
b4f	SubIO PCB Vpow-s	• SubIO基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b50	SubIO PCB FANPOW	• SubIO基板の電源に異常を検出した。	
b51	BaseIO PCB V24adj	• BaseIO基板の電源に異常を検出した。	
b54	PCB INKIO-F*	• インクIO基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。 • 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b6C	INKIO PCB V3R3	• インクIO基板の電源に異常を検出した。	
b6d	UVD32B ヒューズエラー	• KebabHSのUVD32B32基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
C10	コマンド	• コマンドデータ以外のコードを受信した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） 3. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 36） 4. 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「USB接続についての注意事項」（P. 36）
C11	パラメータ	• 数値範囲外のパラメータを受信した。	
C12	デバイス	• 不当なデバイス制御コマンドを受信した。	
C31	データナシ	• "コピー"を実行したが、受信バッファにデータが保存されていない。	• 該当のデータを再度送信してください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
C32	データが大きい	• 受信済みのデータが大きすぎて、枚数切りができない。	• データサイズを変更してください。

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 :メッセージ	• 一度、主電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。 番号を確認の上、販売店または弊社営業所、コールセンターにお問い合わせください。 (“000”はエラーNo.)。

第 6 章　付録



この章では...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載しています。

仕様 126
オプション一覧 128
LICENSE Library (EPL5 StarterWare) 129

6.1 仕様

項目			UJF200-3042	UJF200-6042
プリントヘッド部	方式 仕様		オンデマンドピエゾヘッド	
			1ヘッド （400ノズル×8列）	
	解像度	X	600 dpi、900 dpi、 1200 dpi、1800 dpi	
		Y	600 dpi、900 dpi、1200 dpi	
作図モード (Y-dpi x X-dpi)	600 x 900		6, 8 pass	
	900 x 1200		8, 10 pass	
	1200 x 1200		8, 12 pass	
	1200 x 1800		12, 16 pass	
	1200x600		6, 8,12 pass（LD1/2モード）	
	1200x900		8, 10,12 pass（LD1モード）	
使用可能インク			専用UV硬化インク（弊社純正インク）	
インク供給			8ボトル供給	
使用可能メディア	サイズ		300 x 420 mm	610 x 420 mm
	厚さ		250 mm以下	
	重量		20 kg以下	
最大プリント範囲			300 x 420 mm	610 x 420 mm
距離精度	絶対精度		± 0.3 mm または指定距離の ± 0.3 % の大きい方	
	再現性		± 0.2 mm または指定距離の ± 0.1 % の大きい方	
直角度			± 0.3 mm / 400 mm	
プリントギャップ調整			キー操作によるテーブル上下機構搭載	
ヘッド衝突防止装置			障害物センサーによるヘッド衝突防止	
UV装置			空冷LED UV照射装置1基 (ヘッドスライダーに搭載)	
廃インクタンク			ボトル式 (1600 cc)	
インターフェイス[*3]			USB 2.0 （Ethernet 10 BASE / 100 BASE / 1000 BASE　メール機能、ただし作図は「1000BASE」のみ）	
コマンド			MRL-V	
騒音	待機時		55 dB 以下 （FAST-A, 前後左右1 m）	
	動作連続音		70 dB 以下	
適合規格			VCCI-classA, FCC ClassA, EC62368-1準拠ETL, CEマーキング（EMC指令, 機械指令, 低電圧指令）, CB 認証, RoHS対応, REACH対応, EnergyStar, EACマーク, RCMマーク	
電源仕様			単相AC100 - 240 V ±10% /5A 50 / 60 Hz ±1Hz	
消費電力			最大450W以下、標準250W、最小4.5W以下	
設置環境	使用可能温度		20 °C ～ 30 °C	
	相対湿度		35 ～ 65% Rh (結露無きこと)	
	精度保証温度		20 °C ～ 25 °C	
	温度勾配		±10 °C / h 以下	
	粉塵		オフィス相当	

項目		UJF200-3042	UJF200-6042
	最高動作高度	2000 m	
重量 *1		171 kg （259 kg）	187 kg （275 kg）
本体外形寸法	幅	1,380 mm	1,680 mm
	奥行き	1,166 mm	
	高さ *1*2	1,186 mm（1,524 mm ）	
専用台外形寸法	幅	1,058 mm	
	奥行き	968 mm	
	高さ	338 mm	

*1. ( )内は専用台込み

*2. 積色表示灯を含む

6.2 オプション一覧

No.	オプション	品番	UJF200-3042	UJF200-6042	備考
1	排気ファンユニット	OPT-J0424	○	○	取扱説明書は別紙（D204011）
2	Kebab MkII	OPT-J0432	○	-	取扱説明書は別紙（日：D203139、英：D203140）
3	Kebab MkII L	OPT-J0433	-	○	
4	Kebab HS	OPT-J0528	○	○	取扱説明書は別紙（日：D203608、英：D203843）
5	脱臭機オプション	OPT-J0515	○	○	☞「脱臭機フィルターの交換」（P. 106）
6	イオナイザ60	OPT-01032	-	○	取扱説明書は別紙（D204010）
7	イオナイザ30	OPT-01033	○	-	
8	設置専用台	OPT-01034	○	○	
9	パイロットランプ	OPT-01050	○	-	☞「パイロットランプ（表示灯）」（P. 26）
10	吸着テーブル30P	OPT-J0525			☞「テーブルについて」（P. 30）

6.3 LICENSE Library (EPL5 StarterWare)

Mimaki printer Firmware

Copyright @2020 MIMAKI ENGINEERING CO.,LTD. All rights reserved.

This product contain open source software listed in the tables below.

Component	License
StarterWare for ARM® based TI Sitara Processors	BSD-TI

The following license terms and conditions shall apply to the open source software listed in the table above:

BSD-TI

Copyright (C) 2010 Texas Instruments Incorporated - http://www.ti.com/

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Texas Instruments Incorporated nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

A

ACインレット 24
AutoIP 79

D

DHCP 79

E

[END/POWER]キー 27, 34, 35
[ENTER]キー 27

F

[FUNC1]キー 27
[FUNC2]キー 27
[FUNC3]キー 27

I

IPアドレス 79

L

LANGUAGE 77
LANケーブル 36
LANポート 24
LED UV装置 25

M

MACアドレス 79
MAPS（Mimaki Advanced Pass System） 67
MSPS 67
Mimakiドライバー 39

N

NCU（Nozzle Check Unit） 85, 95
Network Configurator 79

R

RasterLink 39, 40

S

[SEL]キー 27

U

USBインターフェイスケーブル 36
USBポート 24
UV-LEDユニット 85
UV光量調整 67
UVモード 67

V

VCCI 5

あ

安全インターロック 18

い

イオナイザー 68
インクICチップスロット 25
インクICチップ 47
インクエンド 41
インク供給ユニット 25, 47
インクニアエンド 41
インク排出経路 85
インク排出路 91
インク
　インクエンド 28
　インクフル 28
　ニアエンド 28
印刷終了ブザー 77
インストールガイド 39, 40
インレット 33

え

エラー履歴 81

お

オートパワーオフ 69
オートパワーオン 69
オートメンテナンス 74
オプション治具セット 78
温度 77

か

カラープロファイル 39

き

キーブザー 77
キャッピングステーション 24
キャップゴム 91
キャップ 85, 104
キャリッジ 24, 85
吸着ファン 67
緊急停止 24

く

空気抜き 74
クリーニング 70

け

警告ラベル 20
原点設定 67
原点 52

こ

コピー 123
コンセント 33

さ

最大プリント範囲 126

し

時刻設定 77
遮光カバー 42
受信障害 5
受信バッファ 123
主電源スイッチ 24, 34
使用時間 81
使用状況 81
状態表示ランプ 27
使用メディア選択 66
正面カバー 25
ジョグキー 27
シンボルマーク 6

す

スイッチングハブ 37
スタンバイ 35

ステーションメンテ 73
スライドカバー 25

せ

設置スペース 16
センサー感度 113, 120

そ

操作パネル 25

た

脱臭機フィルター(オプション) 106
単位表示設定 77

て

ディスプレイ 27
データクリア 28
テーブル 25
テストパターン 55
テストプリント
FEED方向 54
SCAN方向 54
電源ケーブル 33
電源設定 69
電源プラグ 33
電波障害自主規制 5

と

吐出不良 75, 88

な

長さ 77

ね

ネットワーク 77, 79

の

ノズル洗浄 90
ノズルチェック 70, 73, 76
ノズル詰まり 76
ノズルリカバリー 75
ノズルリカバリ 73

は

バージョン 81
廃インクタンク 24, 74, 81, 85
パワーオフ 35

ひ

非常停止ボタン 24
表示灯 24

ふ

フィード補正 69
プリント原点 52
プリント条件 56
プリント中メンテ 74
プリント長 81
プリント面積 81

へ

ヘッドギャップ 67

ほ

ボトルキャップ 42, 44, 45
ホワイトメンテナンス 74

ま

マシンリセット 78

み

ミストフィルター 85
緑色点滅
　緑色点滅 27

め

メディア情報 67
メディア名称変更 68
免責事項 5
メンテナンスカバー 25
メンテナンス履歴 81

ら

ライトポインター 25

ランプの点灯状態と装置の状態 27
青色点灯 27
赤色点灯 28
赤色点滅 28
黄色点滅 28
消灯 27
水色点灯 27
水色点滅 27

り

リスト 81
リトライ回数 70
リモートコントロール 77

ろ

ロジカルシーク 69

わ

ワークチェンジ 67
ワイパー交換 98
ワイパー残量 81
ワイパー 88, 98

UJF200-3042/6042取扱説明書

2026年10月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203972-10-16102026



© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2026

KM
FW : 1.0